

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン ジッセンジョシガクエン 学校法人 実践女子学園									
フリガナ 大学の名称	ジッセンジョシダイガク 実践女子大学 (Jissen Women's University)									
大学本部の位置	東京都日野市大坂上四丁目1番地の1									
大学の目的	本学は、教育基本法、学校教育法及び実践女子学園の建学精神に則り、深く専門の学芸を教授研究し、かつ人格の完成を目標として幅広く深い教養を培い、国際的視野に立つ社会人として自己の信ずるところを實踐し、もって文化の創造と人類の福祉とに寄与する人材を育成することを目的とする。									
新設学部等の目的	実践女子大学生活科学部食生活科学科（管理栄養士専攻、食物科学専攻）に、新たに健康栄養専攻（入学定員40人、収容定員160人）を設置する。健康栄養専攻の入学定員、収容定員は、文学部、生活科学部、人間社会学部の各学科が有する編入学定員をもって充てることとしたため、各学科の収容定員を変更する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	平成24年7月学則変更届出提出	
	文学部	年	人	3年次 人	人		年 月 第 年次	東京都日野市大坂上 四丁目1番地の1 同上 同上		
	国文学科	4	110	9 (15)	458 (470)	学士（文学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
	英文学科	4	110	9 (15)	458 (470)	学士（文学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
	美学美術史学科	4	90	2 (10)	364 (380)	学士（文学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
	生活科学部									
	食生活科学科									
	管理栄養士専攻	4	70	— (14)	280 (308)	学士 （生活科学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
	食物科学専攻	4	75	— (5)	300 (310)	学士 （生活科学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
	健康栄養専攻	4	40	— (0)	160 (0)	学士 （生活科学）	平成25年4月 第1年次			
	生活環境学科	4	80	2 (10)	324 (380)	学士 （生活科学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
	生活文化学科									
	生活文化専攻	4	40	2 (10)	164 (180)	学士 （生活科学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
	幼児保育専攻	4	45	— (5)	180 (190)	学士 （生活科学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次			
人間社会学部										
人間社会学科	4	100	— (10)	400 (420)	学士 （人間社会学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次				
現代社会学科	4	100	— (10)	400 (420)	学士 （人間社会学）	平成25年4月 第1年次 平成27年4月 第3年次				

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の 変更等)		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月 実践女子大学 生活科学部食生活科学科健康栄養専攻設置予定 (平成24年7月学則変更届出予定) 実践女子大学 文学部 国文学科 (3年次編入定員) [定員減] (△6) 英文学科 (3年次編入定員) [定員減] (△6) 美学美術史学科 (3年次編入定員) [定員減] (△8) 生活科学部 食生活科学科管理栄養士専攻 (3年次編入定員) [定員減] (△14) 食生活科学科食物科学専攻 (3年次編入定員) [定員減] (△5) 生活環境学科 (3年次編入定員) [定員減] (△8) 生活文化学科生活文化専攻 (3年次編入定員) [定員減] (△8) 生活文化学科幼児保育専攻 (3年次編入定員) [定員減] (△5) 人間社会学部 人間社会学科 (3年次編入定員) [定員減] (△10) 現代社会学科 (3年次編入定員) [定員減] (△10) 実践女子短期大学 食物栄養学科 (廃止) (△80) (平成24年7月報告) 								
		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
教育課程	新設学部等の名称	講義	演習	実験・実習	計	単位				
		科目	科目	科目	科目					
教員 組織 の 分 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	人	
	新設	文学部	国文学科	14 (14)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	50 (50)
			英文学科	9 (9)	3 (3)	4 (4)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	55 (55)
			美学美術史学科	6 (6)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	12 (12)	0 (0)	53 (53)
		生活科学部	食生活科学科	18 (15)	2 (1)	2 (2)	1 (1)	23 (19)	0 (0)	26 (26)
			生活環境学科	8 (8)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	35 (35)
			生活文化学科	8 (8)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	41 (41)
		人間社会学部	人間社会学科	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	32 (32)
			現代社会学科	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	22 (22)
		計	72 (72)	20 (19)	13 (13)	7 (7)	115 (111)	0 (0)	314 (314)	
	既設	該当なし		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
				0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
		計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	合計		75 (72)	20 (19)	13 (13)	7 (7)	115 (111)	0 (0)	314 (314)	
教員 以外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		45 (45)		38 (38)		83 (83)			
	技 術 職 員		0 (0)		7 (7)		7 (7)			
	図 書 館 専 門 職 員		4 (4)		6 (6)		10 (10)			
	そ の 他 の 職 員		42 (42)		8 (8)		50 (50)			
	計		91 (91)		59 (59)		150 (150)			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	32,295㎡	0㎡	0㎡	32,295㎡					
	運 動 場 用 地	10,740㎡	0㎡	0㎡	10,740㎡					
	小 計	43,035㎡	0㎡	0㎡	43,035㎡					
	そ の 他	859㎡	0㎡	0㎡	859㎡					
合 計	43,894㎡	0㎡	0㎡	43,894㎡						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
		35,409㎡ (35,409㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	35,409㎡ (35,409㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数	室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
		()	()	()	()	()	()			
		()	()	()	()	()	()			
	計	()	()	()	()	()	()			
図 書 館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
経費の見積り 及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費 (運用コスト含 む)を含む
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		34,048千円	34,799千円	34,451千円	34,451千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	57,279千円	57,780千円	58,282千円	58,282千円	58,282千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	158,261千円	159,646千円	161,031千円	161,031千円	161,031千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	生活科学部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体	
			食生活科学科 管理栄養士専攻	1,380千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円		— 千円
			食生活科学科 食物科学専攻	1,360千円	1,080千円	1,080千円	1,080千円			
			食生活科学科 健康栄養専攻	1,370千円	1,090千円	1,090千円	1,090千円			
			生活環境学科	1,340千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円			
			生活文化学科 幼児保育専攻	1,340千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円			
			生活文化学科 生活文化専攻	1,300千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円			
	文学部									
	人間社会学部									
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金収入, 私立大学経常経費補助金, 資産運用収入, 事業収入 等							

既設大学等の状況	大学の名称	実践女子大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	
	文学部	年	人	3年次人	人		倍		
	国文学科	4	110	15	490	学士(文学)	1.23	昭和40年度	
	英文学科	4	110	15	490	学士(文学)	1.23	昭和40年度	
	美学美術史学科	4	90	10	400	学士(文学)	1.10	昭和60年度	
	生活科学部						1.17		
	食生活科学科 管理栄養士専攻	4	70	14	308	学士(生活科学)	1.11	昭和41年度	
	食生活科学科 食物科学専攻	4	75	5	310	学士(生活科学)	1.12	昭和41年度	
	生活環境学科	4	80	10	340	学士(生活科学)	1.20	昭和40年度	
	生活文化学科 生活文化専攻	4	40	10	180	学士(生活科学)	1.33	平成19年度	
	生活文化学科 幼児保育専攻	4	45	5	190	学士(生活科学)	1.09	平成19年度	
	人間社会学部						1.15		
	人間社会学科	4	100	10	520	学士(人間社会学)	1.15	平成16年度	
	現代社会学科	4	100	10	200	学士(人間社会学)	1.07	平成23年度	
	文学研究科						0.41		
	国文学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	昭和44年度	
	国文学専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士(文学)	0.45	昭和41年度	
	英文学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士(文学)	0.00	昭和41年度	
	美術史学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	修士(文学)	0.25	平成23年度	
	美術史学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士(文学)	0.99	平成4年度	
	生活科学研究科						0.41		
	食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食物栄養学)	0.50	平成17年度	
	食物栄養学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士(食物栄養学)	0.24	昭和41年度	
	生活環境学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士(生活科学)	0.49	平成元年度	
	人間社会研究科						0.21		
	人間社会専攻 (修士課程)	2	7	—	14	修士(人間社会)	0.21	平成22年度	
									東京都日野市 大坂上四丁目 1番地の1

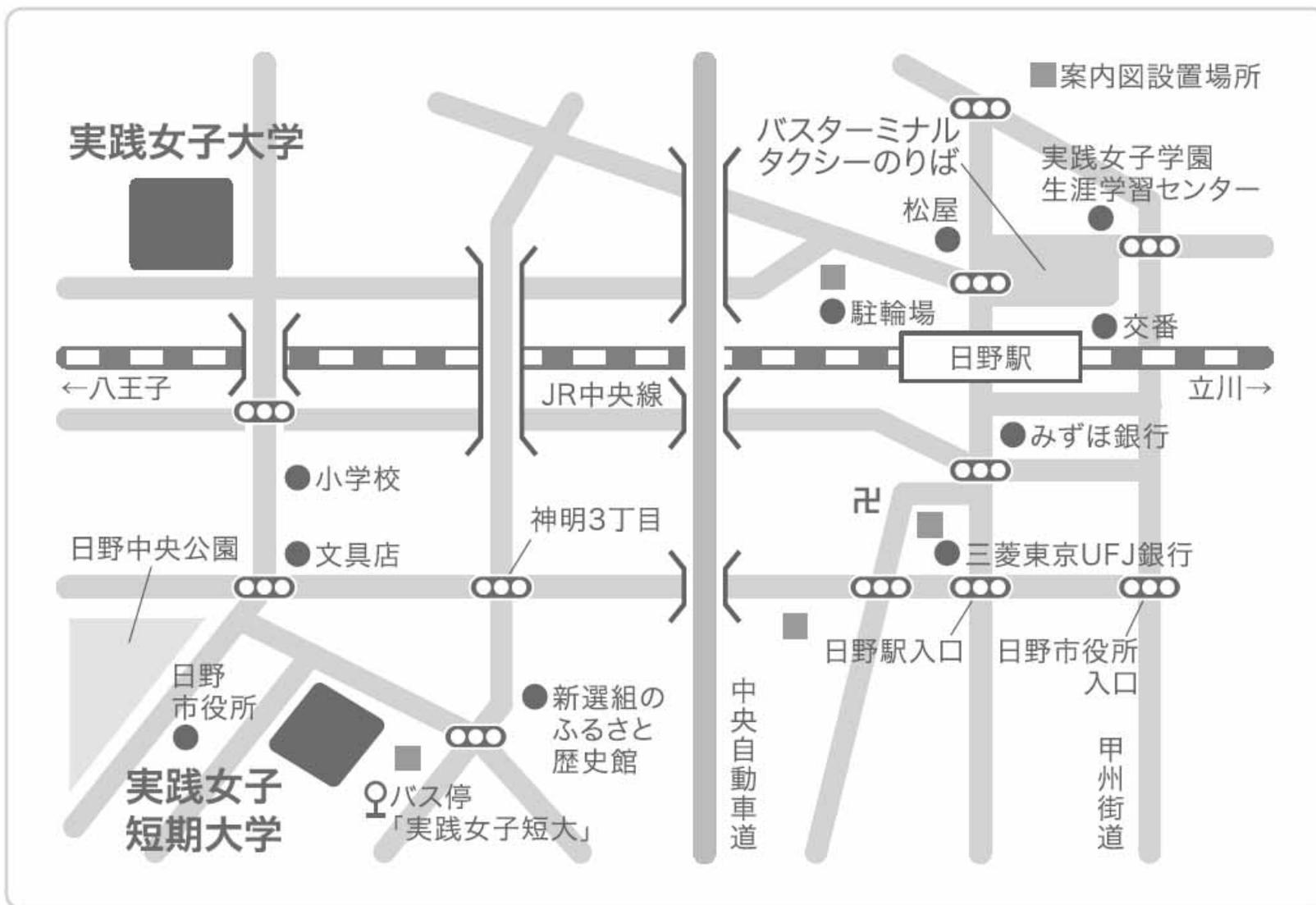
既設大学等の状況	大学の名称	実践女子短期大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	日本語コミュニケーション学科	2	80	—	180	短期大学士 (日本語コミュニケーション学)	0.96	昭和27年度	東京都日野市 神明一丁目 13番地の1	※平成25年より 学生募集停止
英語コミュニケーション学科	2	100	—	220	短期大学士 (英語コミュニケーション学)	0.71	昭和27年度			
食物栄養学科	2	80	—	160	短期大学士 (食物栄養学)	1.16	昭和25年度			
附属施設の概要	<p>名称 文芸資料研究所（文学部附置） 目的 文学研究 所在地 東京都日野市大坂上四丁目1番地の1 設置年月 昭和54年5月 規模等 建物面積80.71㎡（校舎内）</p> <p>名称 外国語教育研究センター 目的 外国語教育の充実と発展 所在地 東京都日野市大坂上四丁目1番地の1 設置年月 平成16年4月 規模等 建物面積144.16㎡（校舎内）</p>									

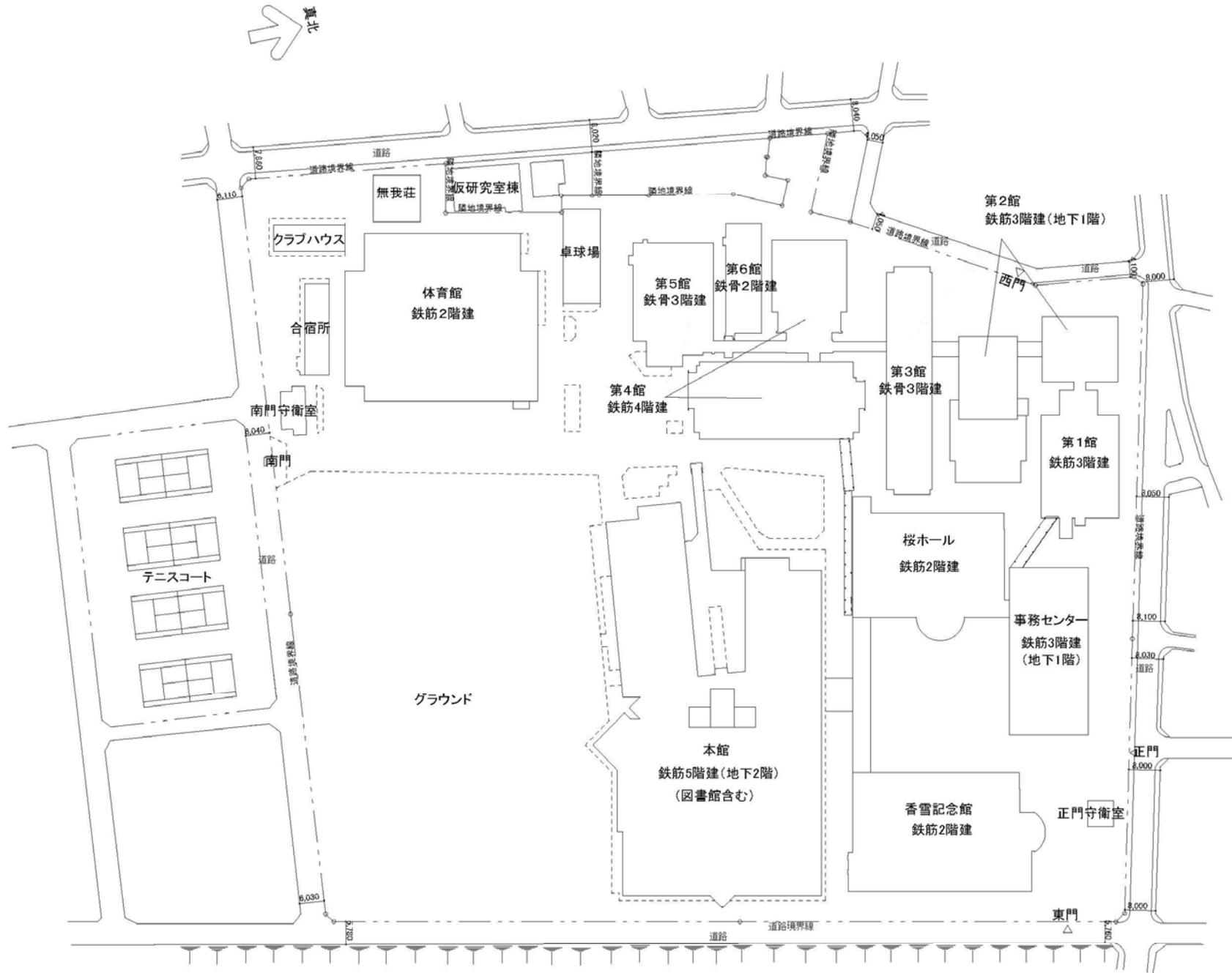
都道府県内における位置

1



最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面





実践女子大学学則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 本学は、教育基本法、学校教育法及び実践女子学園の建学精神に則り、深く専門の学芸を教授研究し、かつ人格の完成を目標として幅広く深い教養を培い、国際的視野に立つ社会人として自己の信ずるところを實踐し、もって文化の創造と人類の福祉とに寄与する人材を育成することを目的とする。
- 第 2 条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検、評価を行うこととする。
- 2 前項の点検、評価の方法等については、別に定める。

第 2 章 大学院、学部、学科等の組織、目的

- 第 3 条 本学に文学部、生活科学部、人間社会学部をおき、修業年限は各 4 年とする。
- 2 文学部に国文学科、英文学科、美学美術史学科をおく。
- 3 生活科学部に食生活科学科、生活環境学科、生活文化学科をおき、食生活科学科には管理栄養士専攻、食物科学専攻、健康栄養専攻を、生活文化学科には生活文化専攻と幼児保育専攻をおく。
- 4 人間社会学部に人間社会学科、現代社会学科をおく。
- 5 学生は、8 年を超えて在学することはできない。
- 第 4 条 本学に大学院をおく。
- 2 大学院に関する事項は、別に定める。
- 第 5 条 文学部及び文学部各学科の教育研究上の目的は以下のとおりとする。
- 2 文学部では、日本、東洋、西洋の文学、言語、美術の各分野における幅広い学識を授け、現代社会に寄与しうる人材の育成に努めることを目的とする。
- 3 国文学科では、日本文学を体系的、理論的、総合的に研究し、日本語の本質と変遷を解明することにより、日本文化の進展に寄与しうる人材を育成することを目的とする。そのため、研究の対象を広げることにも努め、古典を重視するとともに近代現代の文学、さらにはそれらに大きな影響を与えた中国の思想と文学に深く配慮し、現代の我々の言語生活に直結する歴史的課題にも留意した教育を實踐する。
- 4 英文学科では、大学生としてのしっかりとした基礎の上に英語の運用能力を養成し、英語圏文化に関する幅広い知識と教養を身につけることにより、知的好奇心を備え、主体的に国際化社会で活躍できる人材の育成を目的とする。
- 5 美学美術史学科では、日本、東洋、西洋各地域の美術史と美学及び日本芸能史について、幅広い知識と教養を身につけ、美術の実技を学ぶことも含めて、芸術についての総合的な理解力と自己表現力を養い、芸術、文化とそれを生み出した社会に対する理解と洞察力を備えた人材の育成を目的とする。
- 第 6 条 生活科学部及び生活科学部各学科・専攻の教育研究上の目的は次のとおりとする。
- 2 生活科学部では、食物、栄養、健康、衣服、もの、住まい、ライフスタイル、幼児・保育に関する広い学識を授け、各々の専門に係る職業に必要な知識と能力の養成を目的とする。
- 3 食生活科学科では、社会で必要とされる健康と栄養、食と暮らしのスペシャリストを育成する。さらに、食関連の職業に就いたときに活躍できる能力と、取得した資格に相応しい実力の養成を目的とする。

- (1) 管理栄養士専攻
食物、栄養、健康に関する広い学識を授け、管理栄養士として、また、食品衛生監視員・管理者として実務に適用できる人材の育成を目的とする。
- (2) 食物科学専攻
食物、栄養、健康に関する広い学識を授け、フードスペシャリスト、家庭科教員、食品衛生監視員・管理者として実務に適用できる人材の育成を目的とする。
- (3) 健康栄養専攻
食物、栄養、健康に関する広い学識を授け、栄養士、栄養教諭、食品衛生監視員・管理者として実務に適用できる人材の育成を目的とする。
- 4 生活環境学科では、衣服、もの、住まいに関する広い学識を授け、専門性を要する職業に就いたときに活躍できる能力の養成を目的とする。
- 5 生活文化学科では、暮らしと仕事の関係を明確にして、職業人・生活者としてライフスタイルを設計できる能力の養成を目的とする。
 - (1) 生活文化専攻
暮らしと仕事の関係を明確にして、専らライフスタイルの可能性を求める者に対し、職業人・生活者としてライフスタイルを設計できる能力の養成を目的とする。
 - (2) 幼児保育専攻
暮らしと仕事の関係を明確にして、ライフスタイルに保育士を織り込んでいる者に対し、職業人・生活者としてライフスタイルを設計できる能力の養成を目的とする。さらに、幼稚園教員として実務に適用できる人材を育成する。

- 第 7 条 人間社会学部及び人間社会学部各学科の教育研究上の目的は以下のとおりとする。
- 2 人間社会学部では、国際化の進展、情報化の進展、社会の成熟化が進むなかで、社会の要請と国民の多様で高度な学びの要求に応える学部教育を目指す。学生が自ら主体的に学び、考え活動できる能力の養成を願い、「共に学び合う共同体」づくりを目指す。
 - 3 人間社会学科では、社会に対する学としての社会学、人間行動・人間関係・心理に対する学としての心理学を基礎にしつつ、現代の高度化された産業・消費・ビジネス社会への適応、及び課題解決能力の開発のために、また、人と人、人と社会の円満な関係を築きあげることのできる能力の養成を目的とする。
 - 4 現代社会学科では、社会人に求められる幅広い知識・技能及び教育・社会や企業社会、コミュニケーションを中心とする専門的な知識・理論を活用し、現代社会の企業・地域社会を理解し、その活動や問題を把握し取り組む能力を習得させ、企業組織・地域社会で活躍し貢献できる実務能力を有する人材の養成を目的とする。

第 8 条 文学部の学生定員を次のとおりとする。

学 科	入 学 定 員	編入学定員(第3年次)	収 容 定 員
国 文 学 科	110 名	9 名	458 名
英 文 学 科	110 名	9 名	458 名
美学美術史学科	90 名	2 名	364 名

第 9 条 生活科学部の学生定員を次のとおりとする。

学 科	専 攻	入 学 定 員	編入学定員(第3年次)	収 容 定 員
食生活科学科	管理栄養士専攻	70 名	—	280 名
	食物科学専攻	75 名	—	300 名
	健康栄養専攻	40 名	—	160 名

生活環境学科		80名	2名	324名
生活文化学科	生活文化専攻	40名	2名	164名
	幼児保育専攻	45名	—	180名

第 10 条 人間社会学部の学生定員を次のとおりとする。

学 科	入 学 定 員	編入学定員(第3年次)	収 容 定 員
人間社会学科	100名	—	400名
現代社会学科	100名	—	400名

第 11 条 本学に大学教育研究センター、外国語教育研究センターをおく。

- 2 大学教育研究センターに関する規程は、別に定める。
- 3 外国語教育研究センターに関する規程は、別に定める。

第 12 条 本学文学部に文芸資料研究所を附置する。

- 2 文芸資料研究所に関する規程は、別に定める。

第 3 章 授業科目

第 13 条 授業科目は、各学科共これを必修科目と選択科目とに分け、学年の始めに定める。

第 14 条 文学部・生活科学部・人間社会学部の共通教育科目は、別表第1のとおりとする。

第 15 条 文学部国文学科、英文学科、美学美術史学科の専門科目は、別表第3のとおりとする。

- 2 生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻、同食物科学専攻、同健康栄養専攻、生活環境学科、生活文化学科生活文化専攻、同幼児保育専攻の専門科目は、別表第4のとおりとする。
- 3 人間社会学部人間社会学科、現代社会学科の専門科目は、別表第5のとおりとする。

第 16 条 教育職員免許状取得希望者、図書館司書、学校図書館司書教諭資格取得希望者及び博物館学芸員資格取得希望者は、学部学科で定めた授業科目以外に、教職は別表第6、司書は別表第7、司書教諭は別表第8、学芸員は別表第9の授業科目を履修しなければならない。

- 2 本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学 部	学 科		取得できる教育職員免許状の種類	
文 学 部	国 文 学 科		中学校教諭 1種免許状	国 語
			高等学校教諭 1種免許状	国 語・書 道
	英 文 学 科		中学校教諭 1種免許状	外国語(英語)
			高等学校教諭 1種免許状	外国語(英語)
	美学美術史学科		中学校教諭 1種免許状	美 術
			高等学校教諭 1種免許状	美 術
生活科学部	食生活科学科	管理栄養士専攻	栄養教諭 1種免許状	
		食物科学専攻	中学校教諭 1種免許状	家 庭

			高等学校教諭 1種免許状	家庭
		健康栄養専攻	栄養教諭 2種免許状	
	生活環境学科		中学校教諭 1種免許状	家庭
			高等学校教諭 1種免許状	家庭
			高等学校教諭 1種免許状	情報
	生活文化学科	生活文化専攻	中学校教諭 1種免許状	家庭
			高等学校教諭 1種免許状	家庭
		幼児保育専攻	幼稚園教諭 1種免許状	
			小学校教諭 1種免許状	
	人間社会学部	人間社会学科	中学校教諭 1種免許状	社会
高等学校教諭 1種免許状			公民	
現代社会学科		中学校教諭 1種免許状	社会	
		高等学校教諭 1種免許状	公民	

- 3 管理栄養士の資格を取得しようとする者は、食生活科学科管理栄養士専攻に在籍し、第26条の規定によるほか、第15条別表第4に定める所定の授業科目を履修し、国家試験を受験しなければならない。
- 4 栄養士の資格を取得しようとする者は、食生活科学科管理栄養士専攻又は同健康栄養専攻に在籍し、第26条の規定によるほか、第15条別表第4に定める「栄養士資格取得に必要な単位」を修得しなければならない。
- 5 一級建築士又は二級建築士試験の受験資格を取得しようとする者は、生活環境学科に在籍し、建築士法に定める必要な単位を修得しなければならない。
- 6 保育士の資格を取得しようとする者は、生活文化学科幼児保育専攻に在籍し、第26条の規定によるほか、第14条別表第1及び第15条別表第4に定める「保育士資格取得に必要な単位」を修得しなければならない。

第 4 章 履修方法、単位算定

- 第 17 条 学生は、履修しようとする授業科目を毎学年又は毎学期の始めに登録しなければならない。登録していない授業科目には単位を与えない。
- 第 18 条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、この限りでない。
- 第 19 条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。
- 2 1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
 - (1) 講義・演習については、15時間をもって1単位とする。ただし、授業科目の内容によっては、教育効果を考慮して必要があるときは、30時間をもって1単位とすることができる。
 - (2) 実験、実習及び実技については、45時間をもって1単位とする。ただし、授業科

目の内容によっては、教育効果を考慮して必要があるときは、30時間をもって1単位とすることができる。

- 3 卒業論文又はこれに代る授業科目は、国文学科では8単位、英文学科では6単位、美学美術史学科では4単位、食生活科学科では6単位、生活環境学科では6単位、生活文化学科では6単位、人間社会学科では8単位、現代社会学科では8単位とする。

第 20 条 本学が教育上有益と認めるときは、あらかじめ他の大学又は短期大学と協議したところにより、学生が当該の他大学等において履修した授業科目を本学において修得したものとして認めることができる。

- 2 本学が教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学において修得したものとして認めることができる。
- 3 本学が教育上有益と認めるときは、本学が留学先として適当と認めた外国の大学あるいはこれに相当する高等教育機関において履修した授業科目を本学において修得したものとして認めることができる。
- 4 留学に関する規程は、別に定める。
- 5 1項、2項及び3項において認めることのできる単位数の合計は次条で認めた修得単位と合わせて60単位を超えないものとし、単位の取り扱いに関しては別に定める。

第 21 条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する以前に大学又は短期大学において修得した単位（第57条に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学において修得した単位として前条で認めた修得単位と合わせて60単位を超えない範囲で認めることがある。なお、単位認定と関連して修業年限の短縮は行わない。

- 2 編入学・転入学の場合は、前項の単位認定とは別に認めることができる。
- 3 単位の取り扱いに関しては、別に定める。

第 5 章 学習評価、卒業の認定

第 22 条 定期試験は、毎年2回各学期の終わりに行う。ただし、休学中の者は試験を受けることはできない。

第 23 条 病気又は事故により試験に欠席したときは、願い出により追試験を許可することができる。

- 2 追試験に関する規程は別に定める。

第 24 条 試験等の評価は、+A・A・B・C・Dの五段階とし、C以上を合格とする。卒業論文についても同様である。

第 25 条 卒業論文又はこれに代る授業科目の制作物は、専門科目の範囲内で題目を定め、文学部及び人間社会学部は12月20日までに、生活科学部は2月末日までにそれぞれ提出しなければならない。

第 26 条 本学を卒業するためには、4年以上在学し、次表に定める単位を修得しなければならない。

学部学科		授業科目の区分		共通教育 科目	専門科目	選択自由 単位	合 計
文 学 部	国 文 学 科			42	70	12	124 単位以上
	英 文 学 科			42	70	12	124 単位以上
	美 学 美 術 史 学 科			28	76	20	124 単位以上
生 活 科 学 部	食生活 科学科	管理栄養士専攻		24	96	4	124 単位以上
		食物科学専攻		36	76	12	124 単位以上
		健康栄養専攻		24	90	10	124 単位以上
	生活環境学科			36	76	12	124 単位以上
	生活文 化学科	生活文化専攻		36	76	12	124 単位以上
		幼児保育専攻		26	86	12	124 単位以上
人 社 学 間 会 部	人 間 社 会 学 科			30	82	12	124 単位以上
	現 代 社 会 学 科			30	82	12	124 単位以上

2 前項の単位修得に関しては、別に定める。

第 27 条 大学に4年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に次の学位を授与する。

文学部卒業者 学 士 (文 学)

生活科学部卒業者 学 士 (生活科学)

人間社会学部卒業者 学 士 (人間社会学)

第 28 条 在学8年（休学期間は除く）を超えてなお所定の単位を修得できない者は、これを除籍する。

第 6 章 入学・転部・転科・退学・休学・転学

第 29 条 入学の時期は、学年の始めとする。

第 30 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者

(4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した、在外教育施設の当該課程を修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定合格者を含む。）

(8) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等

以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

- 第 31 条 次の各号の一に該当する者で、本学への編入学・転入学を志願する者があるときは、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。
- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 大学に2年以上在学した者
 - (3) 短期大学を卒業した者
 - (4) その他前各号と同等以上の学力があると本学で認めた者
- 2 本学学生で転部・転科を志願する者があるときは、選考のうえ相当年次に転部・転科を許可することがある。
- 第 32 条 入学志願者に対しては、選考試験を行う。その方法は、その都度定める。
- 第 33 条 入学志願者は、所定の入学願書に入学検定料を添えて願出しなければならない。
- 第 34 条 選考試験に合格した者は、指定の期日までに入学金その他の納付金を納入しなければならない。また、別に定める期日までに、保証人による保証書を提出しなければならない。
- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
- 第 35 条 保証人は、父又は母（父母のない場合は、独立の生計を営む身元確実の成年に達した者。外国人で父母が日本に居住していない場合は、我が国に在住する独立の生計を営む身元確実の成年に達した者。）とし、その学生の在学中における経済的負担を含む一切の責任を負うものとする。
- 第 36 条 保証人の身分に異動があったとき、又は死亡したときには、その旨直ちに届け出なければならない。
- 第 37 条 学生が病気又は事故によって欠席するときには、その旨届け出なければならない。ただし、欠席が1週間以上にわたるときには、保証人の連署を要し、病気のときには、医師の診断書を添えなければならない。
- 第 38 条 退学しようとする者又は転学しようとする者は、その理由を具し、保証人の連署で願出なければならない。
- 第 39 条 病気又は事故によって、引き続き3か月以上学習することができない者は、その理由を具し、保証人の連署で休学を願出することができる。
- 2 休学期間は、通算して2年を超えることができない。
- 第 40 条 休学期間は、第3条第5項の在学年数に算入しない。
- 第 41 条 休学している者が復学しようとするときは、保証人連署のうえ願出で許可を得なければならない。
- 第 42 条 いったん退学した者が再入学しようとするときは、退学後2年以内に限り選考のうえ許可することがある。
- 第 43 条 授業料その他の学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納付しない者は、除籍する。

第 7 章 学 費

第 44 条 本学の学費は、次のとおりである。ただし、場合によりこれを変更することがある。

1. 入 学 金		280,000 円
2. 授 業 料 (年 額)		700,000 円
3. 実験実習費 (年 額)	生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻	80,000 円
	生活科学部食生活科学科食物科学専攻	60,000 円
	生活科学部食生活科学科健康栄養専攻	70,000 円
	生活科学部生活環境学科	40,000 円
	生活科学部生活文化学科幼児保育専攻	40,000 円
4. 教育充実費 (年 額)		230,000 円
5. 施設設備費 (年 額)		90,000 円

第 45 条 授業料の納入期限は、前期分 4 月末日、後期分 10 月末日までとする。

第 46 条 授業料その他の学費は、出席の有無にかかわらず、学籍のある間は納めなければならない。ただし、休学期間中の授業料、実験実習費は免除することができる。この場合、次条本文の規定はこれを適用しない。

第 47 条 既納の学費は、いかなる理由でも返還しない。ただし、入学時の納入金に限り所定期間内に本人及び保証人の連署による「入学辞退及び納入金返還願」のあるものについては、入学金を差し引いた納入金を返還する。

第 8 章 教職員組織

第 48 条 本学に学長をおく。

- 2 学長は大学を統括し、これを代表する。
- 3 学長は、別に定める規程により選任する。

第 49 条 本学に副学長をおく。

- 2 副学長は、学長を補佐し、その業務の一部を担う。
- 3 副学長は、別に定める規程により選任する。
- 4 副学長は、学長に事故あるとき、又は学長が欠けたときは、学長の職務を行う。

第 50 条 本学に教授、准教授、講師、助教及び助手をおく。

- 2 講師を分けて専任と兼任とする。
- 3 教授、准教授、講師及び助教の任免は、教授会の議を経て理事会がこれを行う。

第 51 条 各学部に学部長をおく。

- 2 学部長は学長を補佐し、その学部を主管する。
- 3 学部長は、別に定める規程により選任する。

第 52 条 各学科、課程に主任をおき、教授の中から任命する。

- 2 主任に関する規程は、別に定める。

第 53 条 本学に教授会を設ける。

- 2 教授会に関する規程は、別に定める。

第 54 条 教授会は、必要に応じ委員会を設けることができる。

2 委員会に関する規程は、別に定める。

第 55 条 本学に事務職員その他必要な職員をおく。

第 9 章 賞 罰

第 56 条 在学中、人格、学術共に優秀な者を教授会の議を経て特待生とし、授業料その他を免除することがある。

第 57 条 学長は、学生が学則又は学内規定に違反し、学生の本分に反する行為があると認めるときは、教授会の議を経て懲戒を行うことができる。

2 前項の懲戒は訓告、停学及び退学とし、退学は学生が次の各号の一に該当するときに限る。

(1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められるとき

(2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められるとき

(3) 正当な理由なく出席常でないとき

(4) 学園の秩序を乱し、その他学生の本分に反したとき

第 10 章 科目等履修生・特別聴講学生・委託生・外国人留学生

第 58 条 本学の授業科目の修得を目的として願出のあった者（以下、科目等履修生という。）については、授業に支障のない範囲において選考のうえ科目の履修を許可し、試験に合格した者に、第 19 条に定めるところにより単位を与えることがある。

2 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

第 59 条 本学の授業科目の聴講を希望する他大学又は短期大学等の学生があるときは、当該の大学又は短期大学等との協議に基づき所定の手続きを経て、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

第 60 条 委託生として入学又は聴講を希望する者があるときは、その研修しようとする授業科目の教授者、学部長、学長協議のうえ許可するものとする。

2 委託生に関する規程は、別に定める。

第 61 条 外国籍を持ち、教育を受ける目的をもって入国し、第 30 条第 4 号又は第 8 号に規定する要件を満たして入学を願出た者は、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生の入学及び履修に関する規程は、別に定める。

3 外国人留学生のために、外国人留学生特設科目として、別表第 10 を設ける。

4 前項の科目を履修し、単位を修得した場合には、共通教育科目の単位に代えることができる。

第 11 章 公開講座

第 62 条 本学は、必要に応じ公開講座を開設する。

第 12 章 学期及び休業日

第 63 条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第 64 条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたるものとする。

第 65 条 学年を分けて、次の2学期とする。

前 期 4月1日から9月20日まで

後 期 9月21日から翌年3月31日まで

第 66 条 休業日は、次のとおりとする。

日 曜 日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

本学創立記念日（5月7日）

春期休業日 3月21日から4月4日まで

夏期休業日 7月30日から9月20日まで

冬期休業日 12月21日から翌年1月7日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、学長は臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

第 13 章 図書館

第 67 条 本学に図書館を設ける。

- 2 図書館に関する規程は、別に定める。

第 14 章 学生寮

第 68 条 削除

- 2 削除

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 章第 3 条及び第 4 条の規定にかかわらず、昭和 61 年度から昭和 74 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

文 学 部			家 政 学 部			計
国 文 学 科	英 文 学 科	美学美術史 学 科	食 物 学 科		被 服 学 科	
			管理栄養士 専 攻	食物学専攻		
150 名	150 名	100 名	60 名	120 名	120 名	700 名

- 3 第 3 章第 6 条別表(2)家政学部授業科目（被服学科）及び第 7 章第 29 条の規定は、昭和 61 年度入学生から適用し、昭和 60 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 6 条別表(2)家政学部授業科目の食物学科基礎教育科目並びに専門教育科目は昭和 62 年度入学生から適用し、昭和 61 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 5 章第 16 条及び第 7 章第 29 条の規定は昭和 62 年度入学生から適用し、昭和 61 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 5 条別表(1)文学部授業科目の外国語科目並びに英文学科専門教育科目は昭和 63 年度入学生から適用し、昭和 62 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 7 章第 29 条の規定は、昭和 63 年度入学生から適用し、昭和 62 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 5 条別表(1)文学部授業科目の美学美術史学科専門教育科目は平成元年度入学生から適用し、昭和 63 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 7 章第 29 条の規定は平成元年度入学生から適用し、昭和 63 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 5 条別表(1)文学部授業科目中、国文学科「中世近世文学史」、「漢字書法Ⅲ」及び英文学科「比較文化」については、平成 2 年度入学生から適用し、平成元年度以前の入学生については従前の規定による。

- 3 第3章第5条別表(2)家政学部授業科目並びに第3章第8条別表(3)教職課程授業科目は、平成2年度入学生から適用し、平成元年度以前の入学生については従前の規定による。
- 4 第7章第29条の規定は平成2年度入学生から適用し、平成元年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第3章第5条別表(1)文学部授業科目の英文学科基礎教育科目及び専門教育科目、美学美術史学科専門教育科目、第3章第8条別表(7)博物館学芸員関係授業科目は、平成3年度入学生から適用し、平成2年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第7章第29条の規定は、平成3年度入学生から適用し、平成2年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第5章第19条第2項の規定は、平成3年9月24日から適用する。
- 2 第7章第36条の規定は、平成4年度入学生から適用し、平成3年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 第21条及び第7条別表第1、第8条別表第2、第9条別表第3、第11条別表第7並びに第39条の規定については平成5年度入学生から適用し、平成4年度以前の入学生は従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 第7条別表第1、第8条別表第2、第9条別表第3並びに第39条の規定については平成6年度入学生から適用し、平成5年度以前の入学生は従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第3条、第6条、第7条、第9条、第11条2項、第14条3項、第20条、第21条、第22条2項、第39条及び第7条別表1、第8条別表2、第9条別表3、第11条別表4、別表5、別表6、別表7の規定については平成7年度入学生から適用し、平成6年度以前の入学生については従前の規定による。ただし、生活科学部、食生活科学科管理栄養士専攻、食生活科学科食物科学専攻および生活環境学科の名称については平成7年度入学生から適用し、平成6年度以前の入学生については平成9年度までの間

は従前どおりとする。

- 3 第6条に規定する入学定員は、平成11年度までの間は次のとおりとする。

生活科学部			
食生活科学科		生活環境学科	生活文化学科
管理栄養士専攻	食物科学専攻		
40名	90名	90名	80名

附 則

- 1 この改正学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第3章第7条別表第1文学部・生活科学部総合教育科目、第8条別表第2文学部専門科目国文学科、英文学科及び第9条別表第3生活科学部専門科目食生活科学科管理栄養士専攻・食物科学専攻については、平成8年度入学生から適用し、平成7年度入学以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第5章第21条の規定のうち文学部及び生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻については、平成8年度入学生から適用し、平成7年度入学生以前の入学生については、従前の規定による。
- 4 第7章第39条の規定については、平成8年度入学生から適用し、平成7年度入学以前の入学生については、従前の規定による。ただし、冷暖房費については、平成7年度入学以前の入学生にも適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第4章第15条2項3項の規定については、平成8年度入学以前の入学生についても適用する。
- 3 第5章第21条の規定のうち生活科学部食生活科学科食物科学専攻、生活環境学科については、平成9年度入学生から適用し、平成8年度入学以前の入学生については従前の規定による。
- 4 第7章第39条の規定については、平成9年度入学生から適用し、平成8年度以前の入学生については従前の規定による。
- 5 第3章第8条別表第2文学部専門科目国文学科、美学美術史学科及び第9条別表第3生活科学部専門科目食生活科学科管理栄養士専攻・食物科学専攻、生活環境学科については、平成9年度入学生から適用し、平成8年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第7章第39条の規定については、平成10年度入学生から適用し、平成9年度以前の

入学生については従前の規定による。

- 第3章第8条別表第2文学部専門科目美学美術史学科及び第9条別表第3生活科学部専門科目生活環境学科については、平成10年度入学生から適用し、平成9年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- この改正学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 第7章第39条の規定については、平成11年度入学生から適用し、平成10年度以前の入学生については従前の規定による。
- 第3章第9条別表第3生活科学部専門科目生活環境学科については、平成10年度入学生から適用し、平成9年度以前の入学生については従前の規定による。生活文化学科については、平成11年度入学生から適用し、平成10年度以前の入学生については従前の規定による。別表第6学校図書館司書教諭科目及び単位数については平成11年度から適用する。

附 則

- この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 第5条及び第6条に規定する入学定員は、平成16年度までの間は次のとおりとする。

学 部・学 科		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
文 学 部	国 文 学 科	145名	137名	130名	125名	120名	
	英 文 学 科	145名	137名	130名	125名	120名	
	美 学 美 術 史 学 科	100名	100名	100名	100名	100名	
生 活 科 学 部	食生活科学科	管理栄養士専攻	70名	70名	70名	70名	70名
		食物科学専攻	57名	57名	54名	51名	45名
	生 活 環 境 学 科	85名	83名	82名	77名	75名	
	生 活 文 化 学 科	80名	80名	80名	80名	80名	

- 第7章第39条の規定については、平成12年度入学生から適用し平成11年度以前の入学生については従前の規定による。
- 第3章第7条別表第1全学共通科目、別表第2文学部・生活科学部共通科目、第8条別表第3文学部専門科目国文学科、英文学科、美学美術史学科、第9条別表第4生活科学部専門科目食生活科学科管理栄養士専攻、食生活科学科食物科学専攻、生活環境学科及び生活文化学科については平成12年度入学生から適用し、平成11年度以前の入学生については従前の規定による。第11条別表第5教職課程科目、別表第8博物館学芸員科目及び単位数については、平成12年度入学生から適用し、平成11年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- この改正学則は、平成13年4月1日から施行する。

- 2 第3章第8条別表第3文学部専門科目美学美術史学科については平成13年度入学生から適用し、平成12年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成14年4月1日から施行する。
 2 第6条に規定する入学定員は、平成16年度までの間は次のとおりとする。

	学 部 ・ 学 科		平成14年度	平成15年度	平成16年度
生 活 科 学 部	食生活科学科	管理栄養士専攻	70名	70名	70名
		食物科学専攻	84名	81名	75名
	生 活 環 境 学 科		87名	82名	80名
	生 活 文 化 学 科		85名	85名	85名

- 3 第21条の規定については、平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。
 4 第39条の規定については、平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。
 5 第9条別表第4生活科学部専門科目食生活科学管理栄養士専攻、食生活科学科食物科学専攻については、平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成15年4月1日から施行する。
 2 第3章第8条別表第3文学部専門科目美学美術史学科については平成15年度入学生から適用し、平成14年度以前の入学生については従前の規定による。
 3 第3章第11条別表第8博物館学芸員関係授業科目については平成13年度入学生から適用し、平成12年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成16年4月1日から施行する。
 2 第10条別表第4生活環境学科の授業科目のうち「消費生活学」については平成15年度入学生から適用し、平成14年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成17年4月1日から施行する。
 2 第10条別表第4食生活科学科管理栄養士専攻及び食物科学専攻の授業科目のうち「毒性学」については平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。
 3 第10条別表第5人間社会学科の授業科目については、平成16年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 11 条第 2 項の規定のうち美学美術史学科については、平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 10 条別表第 3 美学美術史学科の授業科目のうち次の科目については、平成 15 年度入学生から適用し、平成 14 年度以前の入学生については従前の規定による。

アジアの美術 c	2	アジアの美術 d	2	デザイン史 a	2	デザイン史 b	2
身体文化論 a	2	身体文化論 b	2	絵画入門 a	1	絵画入門 b	1
絵画実習 a	2	絵画実習 b	2	絵画実習 c	2	絵画実習 d	2
デザイン入門 a	1	デザイン入門 b	1	デザイン実習 a	2	デザイン実習 b	2
デザイン実習 c	2	デザイン実習 d	1	デザイン実習 e	1	工芸実習 a	2
工芸実習 b	2	彫刻実習 a	2	彫刻実習 b	2		

- 4 第 10 条別表第 4 食生活科学科食物科学専攻の授業科目のうち「生理学」については平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 5 第 11 条別表第 6 教職課程授業科目及び単位数のうち美学美術史学科教育職員免許状に関わる科目については、美学美術史学科平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 6 第 11 条別表第 6 教職課程授業科目及び単位数のうち「教育原理」については、平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 7 第 11 条別表第 9 博物館学芸員関係授業科目については、平成 16 年度入学生から適用し、平成 15 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 8 第 10 条別表第 1-1 文学部・生活科学部共通科目のうち「韓国語 a」「韓国語 b」については、平成 15 年度入学生から適用し、平成 14 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 9 第 10 条別表第 1-2 人間社会学部総合教養科目のうち次の科目については、平成 16 年度入学生から適用する。

韓国語 A	1	韓国語 B	1	フランス語 A	1	フランス語 B	1
フランス語 C	1	フランス語 D	1	ドイツ語 A	1	ドイツ語 B	1
ドイツ語 C	1	ドイツ語 D	1				

附 則

- 1 この改正学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 10 条別表第 4 生活文化学科幼児保育専攻の授業科目のうち幼稚園教諭免許状に関わる科目については、生活文化学科保育士コース平成 17 年度入学生から適用する。
- 3 第 11 条第 2 項の規定のうち生活文化学科幼児保育専攻については、生活文化学科保育士コース平成 17 年度入学生から適用する。
- 4 第 10 条別表第 1-1 文学部・生活科学部共通科目のうち「韓国語会話 a」「韓国語会話 b」については平成 16 年度入学生から適用し、平成 15 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 1 4 条別表第 1 - 2 第 5 人間社会学部総合教養科目のうち次の科目については、平成

18年度入学生から適用し、平成17年度以前の入学生については従前の規定による。

健康運動実習 2	1	健康体力科学演習 1	1	ヘルスプロモーション実践実習 2	1	レクリエーションスポーツ 1	1
----------	---	------------	---	------------------	---	----------------	---

- 3 平成18年度入学生及び平成19年度入学生については、第15条別表第3英文学科の授業科目から次の科目を削除する。

セミナー c	1	セミナー d	1	セミナー e	1	セミナー f	1
--------	---	--------	---	--------	---	--------	---

- 4 第15条別表第4食生活科学科食物科学専攻の授業科目のうち「健康運動論演習」については、平成19年度入学生から適用し、平成18年度以前の入学生については従前の規定による。

- 5 第15条別表第5人間社会学科の授業科目のうち次の科目については、平成17年度入学生から適用し、平成16年度以前の入学生については従前の規定による。

心理学研究法 2	2	社会調査方法論 2	2	社会調査実習 I 2	2	社会調査実習 II 2	2
認知心理学 2	2	社会科学データ分析 2	2	特別講義 B 2	2		

附 則

- 1 この改定学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第15条別表第3美学美術史学科の授業科目のうち次の科目については、平成20年度入学生から適用し、平成19年度以前の入学生については従前の規定による。

西洋古代・中世美術 a	2	西洋古代・中世美術 b	2	西洋古代・中世美術 c	2	西洋古代・中世美術 d	2
西洋現代美術 a	2	西洋現代美術 b	2	絵画実習 e	2		

- 3 平成20年度入学生については、第15条別表第3美学美術史学科の授業科目から次の科目を削除する。

西洋古代美術 a	2	西洋古代美術 b	2	西洋中世美術 a	2	西洋中世美術 b	2
デザイン実習 e	1						

- 4 第16条別表第9博物館学芸員関係の授業科目のうち「文化財保存学 a」「文化財保存学 b」の単位数については、平成19年度入学生から適用し、平成18年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第14条別表第1、第15条別表第3、別表第4、別表第6、第16条第2項の規程は、平成22年度入学生から適用し、平成21年度以前の入学生については、従前の規程による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第26条、第44条の規程については、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生について従前の規程による。
- 3 第15条別表第4、及び第15条別表第5は、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生については、従前の規程による。
- 4 第16条別表第6教職課程授業科目については、平成22年度入学生から適用し、平成

- 2 1年度以前の入学生については従前の規程による。
- 5 第16条別表第7 図書館司書関係授業科目については、平成22年度入学生から適用し、平成21年度以前の入学生については従前の規程による。
- 6 第16条別表第9 博物館学芸員関係授業科目については、平成22年度入学生から適用し、平成21年度以前の入学生については従前の規程による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第15条別表第4 生活文化学科幼児保育専攻の授業科目のうち、次の科目については、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生については従前の規程による。

道徳の指導法	講義	2	特別活動の指導法	講義	2
介護支援基礎論	講義	2	介護等体験	実習	1
教育実習指導(幼稚園)	演習	1	教育実習指導(小学校)	演習	1
教育実習 a(幼稚園)	実習	4	教育実習 b(幼稚園)	実習	2
教育実習 a(小学校)	実習	4	教育実習 b(小学校)	実習	2

- 3 平成23年度入学生については、第15条別表第4 生活文化学科幼児保育専攻の科目から次の科目を削除する。

道徳・特別活動の指導法	講義	2	教育実習指導	演習	1
教育実習	実習	4			

- 4 第16条別表第6 教職課程授業科目については、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生については従前の規程による。
- 5 第49条第1項、第2項及び第4項については、平成25年4月1日から適用する。
- 6 学長の職務の代理及び代行に関しては、平成24年度は従前の規程による。
- 7 平成19年4月11日制定の「学長の職務の代理及び代行に関する規程」は、平成25年3月31日をもって廃止とする。

附 則

- 1 この改正学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 第8条、第9条、第10条に規定する編入学定員(第3年次)は、平成25年度及び平成26年度については次のとおりとする。

文学部

	平成25年度	平成26年度
国文学科	13名	13名
英文学科	13名	13名
美学美術史学科	8名	8名

生活科学部

学 科	専 攻	平成 25 年度	平成 26 年度
食生活科学科	管理栄養士専攻	2 名	2 名
	食物科学専攻	2 名	2 名
	健康栄養専攻	—	—
生活環境学科		2 名	2 名
生活文化学科	生活文化専攻	2 名	2 名
	幼児保育専攻	2 名	2 名

人間社会学部

	平成 25 年度	平成 26 年度
人間社会学科	10 名	10 名
現代社会学科	10 名	10 名

別表第1

第14条別表第1 共通教育科目

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
実践入門セミナー	演習	2	*
実践キャリアプランニング	講義	2	*
インテグレートッド・イングリッシュ	演習	2	*
情報リテラシー基礎 a	演習	1	*
選択科目			
情報リテラシー基礎 b	演習	1	*
キャリアデザイン	講義	2	
グローバル・キャリアデザイン	講義	2	
インターンシップ演習	演習	1	
インターンシップ	実習	1	
キャリア開発実践論	講義	2	
キャリア実践演習	演習	2	
国際理解とキャリア形成	講義	2	
伝統文化の理解と実践	演習	2	
女性と職業	講義	2	
リーディング・スキルズ	演習	1	
TOEICリーディング	演習	1	
リスニング・スキルズ	演習	1	
TOEICリスニング	演習	1	
スピーキング・スキルズ	演習	1	
ビジネス・イングリッシュ	演習	1	
フランス語 1 a	演習	1	
フランス語 1 b	演習	1	
ドイツ語 1 a	演習	1	
ドイツ語 1 b	演習	1	
中国語 1 a	演習	1	
中国語 1 b	演習	1	
コリア語 1 a	演習	1	
コリア語 1 b	演習	1	
フランス語 2 a	演習	1	
フランス語 2 b	演習	1	
ドイツ語 2 a	演習	1	
ドイツ語 2 b	演習	1	
中国語 2 a	演習	1	
中国語 2 b	演習	1	
コリア語 2 a	演習	1	

コリア語 2 b	演習	1	
海外語学研修 a	実習	2	
海外語学研修 b	実習	2	
海外語学研修 c	実習	2	
海外語学研修 d	実習	2	
情報リテラシー応用 a	演習	2	
情報リテラシー応用 b	演習	2	
情報リテラシー応用 c	演習	2	
情報リテラシー実践 a	演習	2	
情報リテラシー実践 b	演習	2	
情報リテラシー実践 c	演習	2	
実践プロジェクト	演習	2	
哲学入門 a	講義	2	
哲学入門 b	講義	2	
現代の哲学 a	講義	2	
現代の哲学 b	講義	2	
倫理学入門 a	講義	2	
倫理学入門 b	講義	2	
現代倫理学 a	講義	2	
現代倫理学 b	講義	2	
美学 a	講義	2	
美学 b	講義	2	
社会思想史 a	講義	2	
社会思想史 b	講義	2	
中国の思想 a	講義	2	
中国の思想 b	講義	2	
西洋思想史 a	講義	2	
西洋思想史 b	講義	2	
仏教思想史 a	講義	2	
仏教思想史 b	講義	2	
キリスト教概論 a	講義	2	
キリスト教概論 b	講義	2	
文学概論	講義	2	
日本の文学 a	講義	2	
日本の文学 b	講義	2	
日本の文学 c	講義	2	
日本の文学 d	講義	2	
フランス文学 a	講義	2	
フランス文学 b	講義	2	

ドイツ文学 a	講義	2	
ドイツ文学 b	講義	2	
児童文学論 a	講義	2	
児童文学論 b	講義	2	
比較文学 a	講義	2	
比較文学 b	講義	2	
女性と文学	講義	2	
比較文化論 a	講義	2	
比較文化論 b	講義	2	
生活文化論 a	講義	2	
生活文化論 b	講義	2	
出版文化論 a	講義	2	
出版文化論 b	講義	2	
食文化論	講義	2	
衣文化論	講義	2	
文化人類学 a	講義	2	
文化人類学 b	講義	2	
メディア論 a	講義	2	
メディア論 b	講義	2	
情報文化論 a	講義	2	
情報文化論 b	講義	2	
世界の美術	講義	2	
心理学概論	講義	2	
心理学 a	講義	2	
心理学 b	講義	2	
発達心理学 a	講義	2	
発達心理学 b	講義	2	
教育学 a	講義	2	
教育学 b	講義	2	
教育史 a	講義	2	
教育史 b	講義	2	
日本国憲法	講義	2	*
法学	講義	2	
法と生活	講義	2	
政治学 a	講義	2	
政治学 b	講義	2	
経済学 a	講義	2	
経済学 b	講義	2	
日本経済論 a	講義	2	
日本経済論 b	講義	2	
日本史 a	講義	2	

日本史 b	講義	2	
西洋史 a	講義	2	
西洋史 b	講義	2	
東洋史 a	講義	2	
東洋史 b	講義	2	
地理学	講義	2	
社会学 a	講義	2	
社会学 b	講義	2	
ジェンダー論 a	講義	2	
ジェンダー論 b	講義	2	
社会保障論	講義	2	
数学の世界	講義	2	
統計の世界	講義	2	
物理の世界	講義	2	
化学の世界 a	講義	2	
化学の世界 b	講義	2	
生物の世界	講義	2	
生命と環境	講義	2	
科学思想史	講義	2	
環境科学	講義	2	
環境と産業技術 a	講義	2	
環境と産業技術 b	講義	2	
くらしの人間工学	講義	2	
身体運動の科学 a	講義	2	*
身体運動の科学 b	講義	2	*
スポーツ文化論	講義	2	*
健康運動実習 a	実習	1	*
健康運動実習 b	実習	1	*
基礎スポーツ実習 a	実習	1	*
基礎スポーツ実習 b	実習	1	*
基礎スポーツ実習 c	実習	1	*
基礎スポーツ実習 d	実習	1	*
健康体力科学演習	演習	1	*
ヘルスプロモーション実践実習 a	実習	1	*
ヘルスプロモーション実践実習 b	実習	1	*
スポーツ基礎科学実習 a	実習	1	*
スポーツ基礎科学実習 b	実習	1	*
スポーツ健康科学実習	実習	1	*
スポーツ応用科学実習	実習	1	*
オープン講座 a		2	
オープン講座 b		2	

オープン講座 c		2	
オープン講座 d		2	
オープン講座 e		2	

別表第1-2 削除

別表第2 削除

*印：「保育士養成課程」 教養科目 10 単位
以上

別表第3

第15条別表第3 文学部専門科目 国文学科

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
国語学概論 a	講義	2	
国語学概論 b	講義	2	
国文学概論 a	講義	2	
国文学概論 b	講義	2	
古典文学基礎講読 a	講義	2	
古典文学基礎講読 b	講義	2	
近代文学基礎講読 a	講義	2	
近代文学基礎講読 b	講義	2	
漢文学基礎講読 a	講義	2	
漢文学基礎講読 b	講義	2	
国語史 a	講義	2	
国語史 b	講義	2	
漢文学 a	講義	2	
漢文学 b	講義	2	
特殊演習 1	演習	1	
特殊演習 2	演習	1	
卒業論文		8	
選択科目			
国語学史基礎演習 1	演習	2	
国語学史基礎演習 2	演習	2	
国語学基礎演習 1	演習	2	
国語学基礎演習 2	演習	2	
上代文学基礎演習 1	演習	2	
上代文学基礎演習 2	演習	2	
中古文学基礎演習 1	演習	2	
中古文学基礎演習 2	演習	2	
中世文学基礎演習 1	演習	2	
中世文学基礎演習 2	演習	2	
近世文学基礎演習 1	演習	2	
近世文学基礎演習 2	演習	2	
近代文学基礎演習 1	演習	2	
近代文学基礎演習 2	演習	2	

上代中古文学史 a	講義	2	
上代中古文学史 b	講義	2	
中世近世文学史 a	講義	2	
中世近世文学史 b	講義	2	
近代現代文学史 a	講義	2	
近代現代文学史 b	講義	2	
日本文法論 a	講義	2	
日本文法論 b	講義	2	
日本語研究とコンピュータ a	講義	2	
日本語研究とコンピュータ b	講義	2	
日本語研究とコンピュータ c	講義	2	
日本語研究とコンピュータ d	講義	2	
国語表現法 a	演習	2	
国語表現法 b	演習	2	
世界の中の日本文学 a	講義	2	
世界の中の日本文学 b	講義	2	
世界の中の日本文学 c	講義	2	
世界の中の日本文学 d	講義	2	
比較文学論演習 a	演習	2	
比較文学論演習 b	演習	2	
比較文学論演習 c	演習	2	
比較文学論演習 d	演習	2	
書道史	講義	2	
書学概論	講義	2	
国語学研究 a	講義	2	
国語学研究 b	講義	2	
国語学研究 c	講義	2	
国語学研究 d	講義	2	
国語学研究 e	講義	2	
国語学研究 f	講義	2	
国語学研究 g	講義	2	
国語学研究 h	講義	2	
上代中古文学研究 a	講義	2	
上代中古文学研究 b	講義	2	
上代中古文学研究 c	講義	2	
上代中古文学研究 d	講義	2	

上代中古文学研究 e	講義	2	
上代中古文学研究 f	講義	2	
上代中古文学研究 g	講義	2	
上代中古文学研究 h	講義	2	
中世近世文学研究 a	講義	2	
中世近世文学研究 b	講義	2	
中世近世文学研究 c	講義	2	
中世近世文学研究 d	講義	2	
中世近世文学研究 e	講義	2	
中世近世文学研究 f	講義	2	
中世近世文学研究 g	講義	2	
中世近世文学研究 h	講義	2	
近代現代文学研究 a	講義	2	
近代現代文学研究 b	講義	2	
近代現代文学研究 c	講義	2	
近代現代文学研究 d	講義	2	
近代現代文学研究 e	講義	2	
近代現代文学研究 f	講義	2	
近代現代文学研究 g	講義	2	
近代現代文学研究 h	講義	2	
中国文学哲学研究 a	講義	2	
中国文学哲学研究 b	講義	2	
中国文学哲学研究 c	講義	2	
中国文学哲学研究 d	講義	2	
国語学演習 a 1	演習	2	
国語学演習 a 2	演習	2	
国語学演習 b 1	演習	2	
国語学演習 b 2	演習	2	
国語学演習 c 1	演習	2	
国語学演習 c 2	演習	2	
国語学演習 d 1	演習	2	
国語学演習 d 2	演習	2	
上代中古文学演習 a 1	演習	2	
上代中古文学演習 a 2	演習	2	
上代中古文学演習 b 1	演習	2	
上代中古文学演習 b 2	演習	2	
上代中古文学演習 c 1	演習	2	
上代中古文学演習 c 2	演習	2	
上代中古文学演習 d 1	演習	2	

上代中古文学演習 d 2	演習	2	
上代中古文学演習 e 1	演習	2	
上代中古文学演習 e 2	演習	2	
上代中古文学演習 f 1	演習	2	
上代中古文学演習 f 2	演習	2	
中世近世文学演習 a 1	演習	2	
中世近世文学演習 a 2	演習	2	
中世近世文学演習 b 1	演習	2	
中世近世文学演習 b 2	演習	2	
中世近世文学演習 c 1	演習	2	
中世近世文学演習 c 2	演習	2	
中世近世文学演習 d 1	演習	2	
中世近世文学演習 d 2	演習	2	
中世近世文学演習 e 1	演習	2	
中世近世文学演習 e 2	演習	2	
中世近世文学演習 f 1	演習	2	
中世近世文学演習 f 2	演習	2	
近代現代文学演習 a 1	演習	2	
近代現代文学演習 a 2	演習	2	
近代現代文学演習 b 1	演習	2	
近代現代文学演習 b 2	演習	2	
近代現代文学演習 c 1	演習	2	
近代現代文学演習 c 2	演習	2	
近代現代文学演習 d 1	演習	2	
近代現代文学演習 d 2	演習	2	
近代現代文学演習 e 1	演習	2	
近代現代文学演習 e 2	演習	2	
近代現代文学演習 f 1	演習	2	
近代現代文学演習 f 2	演習	2	
中国文学哲学演習 a 1	演習	2	
中国文学哲学演習 a 2	演習	2	
中国文学哲学演習 b 1	演習	2	
中国文学哲学演習 b 2	演習	2	
中国文学哲学演習 c 1	演習	2	
中国文学哲学演習 c 2	演習	2	
中国文学哲学演習 d 1	演習	2	
中国文学哲学演習 d 2	演習	2	
日本語教育学演習 a	演習	2	
日本語教育学演習 b	演習	2	

日本語教育学演習 c	演習	2	
日本語教育学演習 d	演習	2	
漢字書法 1	演習	1	
漢字書法 2	演習	1	
漢字書法 3	演習	1	

漢字書法 4	演習	1	
仮名書法 1	演習	1	
仮名書法 2	演習	1	
仮名書法 3	演習	1	
仮名書法 4	演習	1	

別表第3

第15条別表第3 文学部専門科目 英文学科

必修科目				
授業科目	授業形態	単位数	備考	
英語 a	演習	2		
英語 b	演習	2		
英語 c	演習	1		
英語 d	演習	1		
英語 e	演習	2		
英語 f	演習	2		
英語 g	演習	1		
英語 h	演習	1		
英文学科の世界	演習	2		
セミナー a	演習	1		
セミナー b	演習	1		
卒業論文		6		
選択科目				
英米の文化と社会 a	講義	2		
英米の文化と社会 b	講義	2		
イギリス文学史 a	講義	2		
イギリス文学史 b	講義	2		
アメリカ文学史 a	講義	2		
アメリカ文学史 b	講義	2		
中世イギリス文学・文化演習 a	演習	2		
中世イギリス文学・文化演習 b	演習	2		
中世イギリス文学・文化演習 c	演習	2		
中世イギリス文学・文化演習 d	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 a	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 b	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 c	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 d	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 e	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 f	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 g	演習	2		
近代イギリス文学・文化演習 h	演習	2		
現代イギリス文学・文化演習 a	演習	2		
現代イギリス文学・文化演習 b	演習	2		

現代イギリス文学・文化演習 c	演習	2		
現代イギリス文学・文化演習 d	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 a	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 b	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 c	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 d	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 e	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 f	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 g	演習	2		
近代アメリカ文学・文化演習 h	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 a	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 b	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 c	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 d	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 e	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 f	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 g	演習	2		
現代アメリカ文学・文化演習 h	演習	2		
特殊講義 a	講義	2		
特殊講義 b	講義	2		
特殊講義 c	講義	2		
特殊講義 d	講義	2		
特殊講義 e	講義	2		
特殊講義 f	講義	2		
女性文学講義 a	講義	2		
女性文学講義 b	講義	2		
イギリス文学・文化講義 a	講義	2		
イギリス文学・文化講義 b	講義	2		
イギリス文学・文化講義 c	講義	2		
イギリス文学・文化講義 d	講義	2		
アメリカ文学・文化講義 a	講義	2		
アメリカ文学・文化講義 b	講義	2		
アメリカ文学・文化講義 c	講義	2		
アメリカ文学・文化講義 d	講義	2		
英語学概論 a	講義	2		
英語学概論 b	講義	2		
英語学講義 a	講義	2		

英語学講義 b	講義	2	
英語学講義 c	講義	2	
英語学講義 d	講義	2	
英語学演習 a	演習	2	
英語学演習 b	演習	2	
英語学演習 c	演習	2	
英語学演習 d	演習	2	
英語学演習 e	演習	2	
英語学演習 f	演習	2	
英語学演習 g	演習	2	
英語学演習 h	演習	2	
英語音声学 1	講義	2	
英語音声学 2	講義	2	
英語史 1	講義	2	
英語史 2	講義	2	
英文法論 a	講義	2	
英文法論 b	講義	2	
コミュニケーション英語 a	演習	2	
コミュニケーション英語 b	演習	2	
コミュニケーション英語 c	演習	2	
コミュニケーション英語 d	演習	2	
コミュニケーション英語 e	演習	2	
コミュニケーション英語 f	演習	2	
コミュニケーション英語 g	演習	2	
コミュニケーション英語 h	演習	2	

フランス語演習 a	演習	1	
フランス語演習 b	演習	1	
フランス語演習 c	演習	1	
フランス語演習 d	演習	1	
ドイツ語演習 a	演習	1	
ドイツ語演習 b	演習	1	
ドイツ語演習 c	演習	1	
ドイツ語演習 d	演習	1	
中国語演習 a	演習	1	
中国語演習 b	演習	1	
中国語演習 c	演習	1	
中国語演習 d	演習	1	
西洋古典語 1	演習	2	
西洋古典語 2	演習	2	
専門演習 a	演習	2	
専門演習 b	演習	2	
専門演習 c	演習	2	
専門演習 d	演習	2	
専門演習 e	演習	2	
専門演習 f	演習	2	
特別講義 a	講義	2	
特別講義 b	講義	2	
特別講義 c	講義	2	
特別講義 d	講義	2	

別表第3

第15条別表第3 文学部専門科目 美学美術史学科

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
日本美術史入門 a	講義	2	
日本近代美術史入門	講義	2	
中国美術史入門 a	講義	2	
仏教美術史入門 a	講義	2	
西洋美術史入門 a	講義	2	
西洋近代美術史入門 a	講義	2	
日本芸能史入門 a	講義	2	
美学入門 a	講義	2	
卒論ゼミ a	演習	2	
卒論ゼミ b	演習	2	
卒業論文		4	
選択科目			
日本美術史入門 b	講義	2	
中国美術史入門 b	講義	2	
仏教美術史入門 b	講義	2	
西洋美術史入門 b	講義	2	
西洋近代美術史入門 b	講義	2	
日本芸能史入門 b	講義	2	
美学入門 b	講義	2	
基礎演習	講義	2	
日本古代・中世美術 a	講義	2	
日本古代・中世美術 b	講義	2	
日本近世美術 a	講義	2	
日本近世美術 b	講義	2	
日本近世美術 c	講義	2	
日本近世美術 d	講義	2	
日本近代美術 a	講義	2	
日本近代美術 b	講義	2	
日本近代美術 c	講義	2	
日本近代美術 d	講義	2	
中国絵画 a	講義	2	
中国絵画 b	講義	2	

中国絵画 c	講義	2	
中国絵画 d	講義	2	
仏教美術 a	講義	2	
仏教美術 b	講義	2	
仏教美術 c	講義	2	
仏教美術 d	講義	2	
アジアの美術 a	講義	2	
アジアの美術 b	講義	2	
アジアの美術 c	講義	2	
アジアの美術 d	講義	2	
西洋古代・中世美術 a	講義	2	
西洋古代・中世美術 b	講義	2	
西洋古代・中世美術 c	講義	2	
西洋古代・中世美術 d	講義	2	
西洋近世美術 a	講義	2	
西洋近世美術 b	講義	2	
西洋近世美術 c	講義	2	
西洋近世美術 d	講義	2	
西洋近代美術 a	講義	2	
西洋近代美術 b	講義	2	
西洋近代美術 c	講義	2	
西洋近代美術 d	講義	2	
西洋現代美術 a	講義	2	
西洋現代美術 b	講義	2	
デザイン史 a	講義	2	
デザイン史 b	講義	2	
民俗芸能研究 a	講義	2	
民俗芸能研究 b	講義	2	
民俗芸能研究 c	講義	2	
民俗芸能研究 d	講義	2	
芸能文化史 a	講義	2	
芸能文化史 b	講義	2	
民俗学研究 a	講義	2	
民俗学研究 b	講義	2	
美学研究 a	講義	2	
美学研究 b	講義	2	

美 学 研 究 c	講義	2	
美 学 研 究 d	講義	2	
メディア芸術論 a	講義	2	
メディア芸術論 b	講義	2	
芸 術 学 a	講義	2	
芸 術 学 b	講義	2	
映像芸術論 a	講義	2	
映像芸術論 b	講義	2	
身体文化論 a	講義	2	
身体文化論 b	講義	2	
演 劇 学 a	講義	2	
演 劇 学 b	講義	2	
思想史研究 a	講義	2	
思想史研究 b	講義	2	
日本美術史演習 a	演習	2	
日本美術史演習 b	演習	2	
日本近代美術史演習 a	演習	2	
日本近代美術史演習 b	演習	2	
中国美術史演習 a	演習	2	
中国美術史演習 b	演習	2	
仏教美術史演習 a	演習	2	
仏教美術史演習 b	演習	2	
西洋美術史演習 a	演習	2	
西洋美術史演習 b	演習	2	
西洋近代美術史演習 a	演習	2	
西洋近代美術史演習 b	演習	2	
民俗芸能演習 a	演習	2	
民俗芸能演習 b	演習	2	
美学演習 a	演習	2	
美学演習 b	演習	2	
文献研究 a 1	演習	2	

文献研究 a 2	演習	2	
文献研究 b 1	演習	2	
文献研究 b 2	演習	2	
文献研究 c 1	演習	2	
文献研究 c 2	演習	2	
文献研究 d 1	演習	2	
文献研究 d 2	演習	2	
文献研究 e 1	演習	2	
文献研究 e 2	演習	2	
文献研究 f 1	演習	2	
文献研究 f 2	演習	2	
美術史実地研究 a	実習	1	
美術史実地研究 b	実習	1	
絵画入門 a	実習	1	
絵画入門 b	実習	1	
絵画実習 a	実習	2	
絵画実習 b	実習	2	
絵画実習 c	実習	2	
絵画実習 d	実習	2	
絵画実習 e	実習	2	
デザイン入門 a	実習	1	
デザイン入門 b	実習	1	
デザイン実習 a	実習	2	
デザイン実習 b	実習	2	
デザイン実習 c	実習	2	
デザイン実習 d	実習	1	
工芸実習 a	実習	2	
工芸実習 b	実習	2	
彫刻実習 a	実習	2	
彫刻実習 b	実習	2	

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 食生活科学科管理栄養士専攻

規則等規定科目	授業科目	授業形態	単位数		備考	
			必修	選択		
専門基礎分野	社会・環境と健康	公衆衛生学 a	講義	2		** a
		公衆衛生学 b	講義	2		** a
		健康環境学	講義	2		** a
		栄養疫学実習	実習	1		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学 a	講義	2		** b
		解剖生理学 b	講義	2		** b
		栄養生理学	講義	2		
		生化学 a	講義	2		** b
		生化学 b	講義	2		** b
		臨床医学概論	講義	2		
		感染と防御	講義	2		
		解剖生理学実験	実験	1		** b
	食べ物と健康	食品学 a	講義	2		** c
		食品学 b	講義	2		** c
		調理学	講義	2		** f
		食品機能論	講義	2		** c
		食品加工学 a	講義	2		** c
		食品衛生学 a	講義	2		** c
		食品学実験 a	実験	1		
		食品衛生学実験	実験	1		** c
		食品加工学実習	実習	1		** c
		調理学実験	実験	1		** f
		基礎調理 1	実習	1		** f
基礎調理 2		実習	1			
専門科目	基礎栄養学	基礎栄養学	講義	2		** d
		基礎栄養学実習	実習	1		
	応用栄養学	栄養マネジメント論	講義	2		
		ライフステージ栄養学 a	講義	2		** d
		ライフステージ栄養学 b	講義	2		** d
		栄養マネジメント実習	実習	1		** e
		ライフステージ栄養学実習	実習	1		** e
	栄養教育論	食生活教育論	講義	2		
栄養教育論 a		講義	2		** e	

選択必修二単位 専門科目		栄養教育論 b	講義	2		**e
		栄養教育論実習	実習	1		**e
	臨床栄養学	臨床栄養学 a	講義	2		**d
		臨床栄養学 b	講義	2		**d
		臨床栄養管理学総論	講義	2		
		臨床栄養管理学各論	講義	2		
		臨床栄養学実習 a	実習	1		**d
		臨床栄養管理実習	実習	1		**d
		公衆栄養学	公衆栄養学 a	講義	2	
	公衆栄養学 b		講義	2		**e
	公衆栄養学実習 a		実習	1		**e
	給食経営管理論	給食経営管理 a	講義	2		**f
		給食経営管理 b	講義	2		**f
		給食経営管理実習	実習	1		**f
	総合演習	総合演習 a	演習	1		
		総合演習 b	演習	1		
	臨地実習	校外給食実習	臨地実習	1		**f
		臨床栄養学実習 b	臨地実習	2		**d
	臨地実習 (1単位必修)	臨床栄養学実習 c	臨地実習		1	*d
		公衆栄養学実習 b	臨地実習		1	*e
	食べ物と健康 (1単位必修)	調理学実習 a	実習		1	
		調理学実習 b	実習		1	
	その他の科目 (選択科目)	微生物学	講義		2	
		バイオテクノロジー概論	講義		2	
		基礎無機化学	講義		2	
		基礎有機化学	講義		2	
		分子生物学	講義		2	
食品学実験 b		実験		1		
健康運動論演習		演習		1		
食品分析学		講義		2		
食品加工学 b		講義		2		
毒性学		講義		2		
食品衛生学 b		講義		2		
食品物性論		講義		2		
商業空間デザイン		講義		2		
特別講義 a		演習		1		
特別講義 b		演習		1		
卒業論文					6	

※1 管理栄養士専攻の学級数（1学級50人以下）は2学級とする。

※2 栄養士資格取得に必要な単位

※印：「栄養士養成課程」必修科目 64 単位

*印：「栄養士養成課程」選択必修科目 1 単位以上

a～f は栄養士法施行規則に定める教育内容

a：社会生活と健康

b：人体の構造と機能

c：食品と衛生

d：栄養と健康

e：栄養の指導

f：給食の運営

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 食生活科学科食物科学専攻

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
フードコーディネータ論	講義	2	
フードマネジメント論	講義	2	
フードスペシャリスト論	講義	2	
食生活教育論	講義	2	
基礎栄養学	講義	2	
栄養生理学	講義	2	
生化学 a	講義	2	
生化学 b	講義	2	
ライフステージ栄養学 a	講義	2	
ライフステージ栄養学 b	講義	2	
公衆栄養学 a	講義	2	
食品学 a	講義	2	
食品学 b	講義	2	
食品機能論	講義	2	
食品学各論	講義	2	
食品分析学	講義	2	
食品加工学 a	講義	2	
食品加工学 b	講義	2	
調理学 a	講義	2	
調理学 b	講義	2	
調理学実験 a	実験	1	
基礎調理 1	実習	1	
基礎調理 2	実習	1	
食品衛生学 a	講義	2	
食品衛生学 b	講義	2	
感染と防御	講義	2	
基礎無機化学	講義	2	
基礎有機化学	講義	2	
卒業論文		6	

選択科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
テーブルマネジメント	演習	1	
食品学実験 a	実験	1	
食品学実験 b	実験	1	
食品加工学実習	実習	1	
食品鑑別論	講義	2	
食品物性論	講義	2	
調理学実験 b	実験	1	
調理学実習 a	実習	1	
調理学実習 b	実習	1	
調理学実習 c	実習	1	
公衆衛生学 a	講義	2	
公衆衛生学 b	講義	2	
食品衛生学実験	実験	1	
毒性学	講義	2	
学校健康教育論	講義	2	
微生物学	講義	2	
食商学	講義	2	
フードマーケティング論	講義	2	
分子生物学	講義	2	
バイオテクノロジー概論	講義	2	
調理学及び実習	実習	2	
住居学	講義	2	
衣料学	講義	2	
衣料学演習	演習	2	
衣服製作実習 a	実習	1	
衣服製作実習 b	実習	1	
健康運動論演習	演習	1	
家庭経営学	講義	2	
商業空間デザイン	講義	2	

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 食生活科学科健康栄養専攻

規則等規定科目	授業科目	授業 形態	単位数		備考	
			必修	選択		
専 門 科 目	社会生活と健康	公衆衛生学 a	講義	2		*
		社会と福祉	講義	2		*
	人体の構造と機能	解剖生理学 a	講義	2		*
		人体の構造と疾病	講義	2		*
		生化学 a	講義	2		*
		生化学 b	講義	2		*
		解剖生理学実験	実験	1		*
		栄養生化学実験	実験	1		*
	食品と衛生	食品学 a	講義	2		*
		食品学 b	講義	2		*
		食品学実験 a	実験	1		*
		食品衛生学 a	講義	2		*
		食品衛生学実験	実験	1		*
	栄養と健康	基礎栄養学	講義	2		*
		食事摂取基準論	講義	2		*
		ライフステージ栄養学 a	講義	2		*
		ライフステージ栄養学 b	講義	2		*
		ライフステージ栄養学実習	実習	1		*
		臨床栄養学 a	講義	2		*
		臨床栄養学 b	講義	2		*
		臨床栄養学実習 a	実習	1		*
	臨床栄養学実習 b	実習	1		*	
	栄養の指導	栄養指導論 a	講義	2		*
		栄養指導論 b	講義	2		*
		公衆栄養学 a	講義	2		*
		栄養指導実習 a	実習	1		*
		栄養指導実習 b	実習	1		*
	給食の運営	調理学	講義	2		*
		給食計画論	講義	2		*
		給食実務論	講義	2		*
		基礎調理	実習	2		*
		給食実務学内実習	実習	2		*
給食実務校外実習		実習	2		*	

健康 栄養 科目	食計画群	献立学	講義	2		
		食事計画演習	演習	1		
		応用調理	実習	2		
	食育群	食文化と食育	講義		2	
		ライフステージと食育	講義		2	
		食育と調理	実習		1	
		食のリスク管理	講義		2	
	健康支援群	スポーツと健康科学 a	講義		2	
		スポーツと健康科学 b	講義		2	
		スポーツ栄養学 a	講義		2	
		スポーツ栄養学 b	講義		2	
		スポーツ医科学実習	実習		1	
	レベルアップ群	解剖生理学 b	講義		2	
		食品機能論	講義		2	
		臨床栄養管理学	講義		2	
		公衆栄養学 b	講義		2	
	関連科目	微生物学	講義		2	
		バイオテクノロジー概論	講義		2	
		基礎無機化学	講義		2	
		基礎有機化学	講義		2	
分子生物学		講義		2		
理化学実験		実験		1		
食品加工学 a		講義		2		
食品加工学 b		講義		2		
食品加工学実習		実習		1		
食品衛生学 b		講義		2		
毒性学		講義		2		
栄養生理学		講義		2		
食と美容		講義		2		
卒業論文				6		

※1 栄養士資格取得に必要な単位

*印：「栄養士養成課程」必修科目 57 単位

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 生活環境学科

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
生活環境学演習	演習	2	
生活環境学セミナー	演習	2	
卒業研究		6	
選択科目			
基礎演習 a	演習	2	
基礎演習 b	演習	2	
基礎演習 c	演習	2	
基礎演習 d	演習	2	
デザイン基礎演習 a	演習	2	
デザイン基礎演習 b	演習	2	
色彩学	講義	2	
色彩設計演習 a	演習	2	
色彩設計演習 b	演習	2	
生理学	講義	2	
統計の基礎	講義	2	
統計の応用	講義	2	
生活環境科学	講義	2	
デザイン史	講義	2	
消費生活学	講義	2	
マーケティング論	講義	2	
消費科学	講義	2	
情報環境論	講義	2	
情報通信ネットワーク概論	講義	2	
情報と職業	講義	2	
コンピュータとプログラミング演習	演習	2	
I C T 基礎演習	演習	2	
繊維高分子材料学	講義	2	
繊維高分子材料実験	実験	2	
テキスタイル材料学	講義	2	
テキスタイル材料実験	実験	2	
機能材料学	講義	2	
テキスタイル管理学	講義	2	

テキスタイル管理実験	実験	2	
染色加工学	講義	2	
被服衛生学	講義	2	
アパレルデザイン基礎実験	実験	2	
アパレルデザイン基礎	講義	2	
アパレル生産	講義	2	
パターン設計論	講義	2	
アパレルデザイン実習 a	実習	2	
アパレルデザイン実習 b	実習	2	
アパレル C A D	演習	1	
アパレルデザイン総合実習	実習	2	
伝統衣服実習	実習	2	
ファッションデザイン論	講義	2	
ファッショングラフィック演習	演習	1	
ファッション文化論	講義	2	
ファッション企画論	講義	2	
ファッションビジネス論	講義	2	
ファッションビジネス演習	演習	2	
衣料管理実習	実習	1	
プロダクトデザイン論	講義	2	
プロダクトデザイン演習	演習	2	
基礎造形論	講義	2	
プロダクトアメニティ演習	演習	2	
情報アメニティ論	講義	2	
ユニバーサルデザイン論	講義	2	
工業デザイン概論	講義	2	
生活機器設計演習	演習	2	
マルチメディアデザイン演習	演習	2	
感性と生活情報システム	講義	2	
人間工学	講義	2	
人間工学実験	実験	2	
生活気候学	講義	2	
生理人類学	講義	2	
生理人類学実験	実験	2	
生活材料学	講義	2	
インテリアデザイン論	講義	2	

インテリアデザイン演習	演習	2	
インテリアグラフィック演習	演習	1	
インテリアコーディネート論	講義	2	
インテリアコーディネート演習	演習	2	
建築概論	講義	2	
住居学	講義	2	
住居デザイン論	講義	2	
住環境デザイン論	講義	2	
建築デザイン論	講義	2	
生活空間計画	講義	2	
設計製図基礎	演習	2	
建築・インテリアCAD	演習	1	
生活空間設計製図1	演習	2	
生活空間設計製図2	演習	2	
生活空間設計製図3	演習	2	
建築構造	講義	2	

建築施工	講義	2	
建築・インテリア構法	講義	2	
材料力学	講義	2	
住環境・設備学	講義	2	
福祉住環境論	講義	2	
環境心理学	講義	2	
建築法規	講義	2	
デザインワークショップ	演習	2	
調理学及び実習	実習	2	
栄養学	講義	2	
食品学	講義	2	
衣料学	講義	2	
衣料学演習	演習	2	
衣服製作実習a	実習	1	
衣服製作実習b	実習	1	

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 生活文化学科生活文化専攻

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
生活文化学概論	講義	2	
生活文化史1	講義	2	
生活文化史2	講義	2	
生活文化論演習	演習	2	
卒業論文	演習	6	
選択科目			
ネットワーク社会論	講義	2	
情報文化概論 a	講義	2	
情報文化概論 b	講義	2	
環境文化論1	講義	2	
環境文化論2	講義	2	
表象文化論	講義	2	
女性社会論 a	講義	2	
女性社会論 b	講義	2	
女性社会論演習 a	演習	2	
女性社会論演習 b	演習	2	
メディアアート論1	講義	2	
メディアアート論2	講義	2	
生活経済論 a	講義	2	
生活経済論 b	講義	2	
生活経済論演習 a	演習	2	
生活経済論演習 b	演習	2	
メディア技術論	演習	2	
メディア技術論演習 a	演習	2	
メディア技術論演習 b	演習	2	
コミュニケーション論	講義	2	
レジャー社会論1	講義	2	
レジャー社会論2	講義	2	
社会責任論	講義	2	
地球環境論 a	講義	2	
地球環境論 b	講義	2	
メディア経営論 a	講義	2	

メディア経営論 b	講義	2	
環境技術論 a	講義	2	
環境技術論 b	講義	2	
環境マーケティング論 a	講義	2	
環境マーケティング論 b	講義	2	
環境マーケティング論演習 a	演習	2	
環境マーケティング論演習 b	演習	2	
地域経営論 a	講義	2	
地域経営論 b	講義	2	
地域経営論演習 a	演習	2	
地域経営論演習 b	演習	2	
メディア経営論演習 a	演習	2	
メディア経営論演習 b	演習	2	
環境技術論演習 a	演習	2	
環境技術論演習 b	演習	2	
環境会計学	講義	2	
映像制作技術	演習	2	
ネットワーク技術論1	講義	2	
ネットワーク技術論2	講義	2	
原書購読 a	演習	2	
原書購読 b	演習	2	
心理測定研究法1	演習	2	
心理測定研究法2	演習	2	
生活文化史演習1	演習	2	
生活文化史演習2	演習	2	
比較生活文化論1	講義	2	
比較生活文化論2	講義	2	
心理学基礎実験1	演習	2	
心理学基礎実験2	演習	2	
教育学概論	講義	2	
教育制度論	講義	2	
生涯発達心理学 a	講義	2	
生涯発達心理学 b	講義	2	
健康科学論	講義	2	
保育原理1	講義	2	
保育原理2	講義	2	

教育学演習 a	演習	2	
教育学演習 b	演習	2	
生涯発達心理学演習 a	演習	2	
生涯発達心理学演習 b	演習	2	
造形デザイン論 1	講義	2	
造形デザイン論 2	講義	2	
社会福祉論	講義	2	
児童家庭福祉論	講義	2	
相談援助	演習	1	
教育心理学	講義	2	
生活装備論 1	講義	2	
生活装備論 2	講義	2	
生活装備論演習 1	演習	2	
生活装備論演習 2	演習	2	

家族社会心理学 1	講義	2	
家族社会心理学 2	講義	2	
家族臨床心理学 1	講義	2	
家族臨床心理学 2	講義	2	
子ども理解とカウンセリング	講義	2	
家庭支援論	講義	2	
栄養学	講義	2	
衣料学	講義	2	
衣料学演習	演習	2	
食品学	講義	2	
調理学及び実習	実習	2	
衣服製作実習 a	実習	1	
衣服製作実習 b	実習	1	

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 生活文化学科幼児保育専攻

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
生活文化学概論	講義	2	
生活文化史1	講義	2	
生活文化史2	講義	2	
生活文化論演習	演習	2	
卒業論文	演習	6	
選択科目			
保育原理1	講義	2	**
保育原理2	講義	2	*
教育学概論	講義	2	**
教育制度論	講義	2	*
教育学演習a	演習	2	*
教育学演習b	演習	2	*
教育思想史	講義	2	*
保育者論	講義	2	**
教職論	講義	2	
生涯発達心理学a	講義	2	**
生涯発達心理学b	講義	2	*
生涯発達心理学演習a	演習	2	**
生涯発達心理学演習b	演習	2	*
教育心理学	講義	2	*
子どもの保健1a	講義	2	**
子どもの保健1b	講義	2	**
子どもの保健2	演習	1	**
児童家庭福祉論	講義	2	**
社会福祉論	講義	2	**
社会的養護	講義	2	**
家庭支援論	講義	2	**
保育表現技術a(音楽)	演習	1	**
保育表現技術b(図画工作)	演習	1	**
保育表現技術c(体育)	演習	1	**
保育表現技術d(言語)	演習	1	**
保育内容a(総論)	演習	1	**
保育内容b(健康)	演習	1	**
保育内容c(人間関係)	演習	1	**
保育内容d(ことば)	演習	1	**
保育内容e(環境)	演習	1	**

保育内容f(表現)	演習	1	**
相談援助	演習	1	**
社会的養護内容	演習	1	**
保育相談支援	演習	1	**
保育方法論	講義	2	
乳児保育	演習	2	**
子どもの食と栄養	演習	2	**
障害児保育	演習	2	**
保育課程論	講義	2	**
教育課程論	講義	2	
教育課程編成の実際	講義	2	
国語	講義	2	
社会	講義	2	
算数	講義	2	
理科	講義	2	
生活	講義	2	
音楽	講義	2	
図画工作	講義	2	
家庭	講義	2	
体育	講義	2	
初等教科教育法(国語)	演習	2	
初等教科教育法(社会)	演習	2	
初等教科教育法(算数)	演習	2	
初等教科教育法(理科)	演習	2	
初等教科教育法(生活)	演習	2	
初等教科教育法(音楽)	演習	2	
初等教科教育法(図画工作)	演習	2	
初等教科教育法(家庭)	演習	2	
初等教科教育法(体育)	演習	2	
道徳の指導法	講義	2	
特別活動の指導法	講義	2	
教育方法・技術	講義	2	
生徒・進路指導論	講義	2	
子どもと英語a	演習	2	*
子どもと英語b	演習	2	*
幼児教育法1	演習	2	*
幼児教育法2	演習	2	*
保育指導の実際	演習	2	

保育実習指導 1	演習	2	**
保育実習 1 a (保育園)	実習	2	**
保育実習 1 b (児童福祉施設)	実習	2	**
保育実習指導 2	演習	1	*
保育実習 2 a (保育園)	実習	2	*
保育実習 2 b (児童福祉施設)	実習	2	*
介護支援基礎論	講義	2	
介護等体験	実習	1	
教育実習指導(幼稚園)	演習	1	
教育実習指導(小学校)	演習	1	
教育実習 a (幼稚園)	実習	4	
教育実習 b (幼稚園)	実習	2	
教育実習 a (小学校)	実習	4	
教育実習 b (小学校)	実習	2	
保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	**
教職実践演習(幼・小)	演習	2	
心理測定研究法 1	演習	2	*
心理測定研究法 2	演習	2	*
家族社会心理学 1	講義	2	*
家族社会心理学 2	講義	2	*
家族臨床心理学 1	講義	2	*
家族臨床心理学 2	講義	2	*
心理学基礎実験 1	演習	2	*
心理学基礎実験 2	演習	2	*
子ども理解とカウンセリング	講義	2	*
ネットワーク社会論	講義	2	*
情報文化概論 a	講義	2	
情報文化概論 b	講義	2	
生活経済論 a	講義	2	*
生活経済論 b	講義	2	*

生活経済論演習 a	演習	2	
生活経済論演習 b	演習	2	
造形デザイン論 1	講義	2	*
造形デザイン論 2	講義	2	*
メディアアート論 1	講義	2	*
メディアアート論 2	講義	2	*
映像制作技術	演習	2	*
ネットワーク技術論 1	講義	2	
ネットワーク技術論 2	講義	2	
環境文化論 1	講義	2	
環境文化論 2	講義	2	
原書講読 a	演習	2	
原書講読 b	演習	2	
生活装備論 1	講義	2	*
生活装備論 2	講義	2	*
生活装備論演習 1	演習	2	*
生活装備論演習 2	演習	2	*
コミュニケーション論	講義	2	
比較生活文化論 1	講義	2	
比較生活文化論 2	講義	2	
生活文化史演習 1	演習	2	
生活文化史演習 2	演習	2	
女性社会論 a	講義	2	
女性社会論 b	講義	2	
社会責任論	講義	2	
メディア技術論演習 a	演習	2	
メディア技術論演習 b	演習	2	
女性社会論演習 a	演習	2	
女性社会論演習 b	演習	2	

**印：「保育士養成課程」必修科目 52単位

*印：「保育士養成課程」選択必修科目 21単位以上

別表第5

第15条別表第5 人間社会学部専門科目 人間社会学科

区分	授業科目	授業形態	単位数		備考
			必修	選択	
基礎科目	人間社会学総論	講義	2		
	心理学基礎	講義	2		
	社会学概論	講義	2		
	経済学概論	講義	2		
	経営学概論	講義	2		
	法律学	講義	2		
	コミュニケーション概論	講義	2		
	社会と統計	講義	2		
基幹科目	人間関係論	講義		2	
	行動科学	講義		2	
	社会心理学	講義		2	
	社会言語学	講義		2	
	経営管理論	講義		2	
	キャリアデザイン論	講義		2	
	言語コミュニケーション教育論	講義		2	
	ミクロ・マクロ経済学	講義		2	
	民法概論	講義		2	
	簿記論Ⅰ	講義		2	
	簿記論Ⅱ	講義		2	
	社会調査概論	講義		2	
	社会調査方法論	講義		2	
	調査・実験データ処理法	講義		2	
展開・応用科目	認知心理学	講義		2	
	生涯心理学	講義		2	
	学習心理学	講義		2	
	女性心理学	講義		2	
	人格心理学	講義		2	
	家族社会学	講義		2	
	社会政策論	講義		2	
	都市社会学	講義		2	
	家族法	講義		2	
	心理学統計法	講義		2	
	心理学実験実習Ⅰ	実習		2	
	心理学実験実習Ⅱ	実習		2	

社会調査実習Ⅰ	実習		2		
社会調査実習Ⅱ	実習		2		
国際政治論	講義		2		
会计学総論	講義		2		
原価計算論	講義		2		
会計監査論	講義		2		
金融論	講義		2		
財政論	講義		2		
保険論	講義		2		
流通サービス論	講義		2		
産業組織論	講義		2		
情報社会論	講義		2		
消費者心理学	講義		2		
知的財産法	講義		2		
企業法	講義		2		
社会科学データ分析	講義		2		
日本語コミュニケーション基礎	講義		2		
日本語コミュニケーション実践	講義		2		
異文化理解	講義		2		
現代ジャーナリスト論	講義		2		
メディア文化論	講義		2		
メディア表現論	講義		2		
ホスピタリティ論	講義		2		
カウンセリング	講義		2		
産業カウンセリング	講義		2		
コーチング論	講義		2		
情報環境論	講義		2		
Webコミュニケーション	講義		2		
情報ネットワーク	講義		2		
関連科目	社会の基礎数学	講義		2	
	現代企業論	講義		2	
	応用社会心理学	講義		2	
	産業心理学	講義		2	
	安全心理学	講義		2	
	犯罪心理学	講義		2	
	心理学研究法	講義		2	

	臨床心理学	講義		2	
	教育心理学	講義		2	
	共生支援論	講義		2	
	社会文化事業論	講義		2	
	商法概論	講義		2	
	国際経済論	講義		2	
	地理学概論	講義		2	
	特別講義 A	講義		2	
	特別講義 B	講義		2	
演習科目	演習 I	演習	2		
	演習 II A	演習	2		
	演習 II B	演習	2		

	演習 III A	演習	2		
	演習 III B	演習	2		
	演習 IV A	演習	4		
	演習 IV B	演習	4		
外国語科目	英語コミュニケーション I	演習	2		
	英語コミュニケーション II A	演習	2		
	英語コミュニケーション II B	演習	2		
	中国語コミュニケーション I A	演習		2	
	中国語コミュニケーション I B	演習		2	
	中国語コミュニケーション II A	演習		2	
	中国語コミュニケーション II B	演習		2	

別表第5

第15条別表第5 人間社会学部専門科目 現代社会学科

区分	授業科目	授業形態	単位数		備考
			必修	選択	
基礎科目	人間社会学総論	講義	2		
	心理学基礎	講義	2		
	社会学概論	講義	2		
	経済学概論	講義	2		
	経営学概論	講義	2		
	法学	講義	2		
	コミュニケーション概論	講義	2		
	社会と統計	講義	2		
基幹科目	現代社会論	講義		2	
	人間教育学概論	講義		2	
	人間関係論	講義		2	
	教育心理学	講義		2	
	社会心理学	講義		2	
	行動科学	講義		2	
	ミクロ・マクロ経済学	講義		2	
	企業戦略論	講義		2	
	キャリアデザイン論	講義		2	
	キャリアマネジメント論	講義		2	
	簿記論 I	講義		2	
	簿記論 II	講義		2	
	民法概論	講義		2	
商法概論	講義		2		
展開・応用科目	人間形成論	講義		2	
	現代教育論	講義		2	
	教育社会学	講義		2	
	キャリア教育支援論	講義		2	
	女性と労働	講義		2	
	家族社会学	講義		2	
	都市社会論	講義		2	
	共生支援論	講義		2	
	NPO・NGO論	講義		2	
	ダイバーシティ社会論	講義		2	
	社会ネットワーク論	講義		2	
	社会文化事業論	講義		2	
	地域社会学	講義		2	
行政法	講義		2		

	社会倫理	講義		2	
	消費者保護論	講義		2	
	現代日本経済論	講義		2	
	現代企業論	講義		2	
	社会会計論	講義		2	
	地域経済と社会	講義		2	
	経済発展と社会	講義		2	
	中小企業論	講義		2	
	国際経済論	講義		2	
	国際企業論	講義		2	
	マーケティング論	講義		2	
	消費者心理学	講義		2	
	安全心理学	講義		2	
	企業法	講義		2	
	経済法	講義		2	
	産業心理学	講義		2	
	経営心理学	講義		2	
	人格心理学	講義		2	
	臨床心理学	講義		2	
	異文化理解	講義		2	
	集団組織コミュニケーション論	講義		2	
	人事管理論	講義		2	
	ホスピタリティ論	講義		2	
リーダーシップ論	講義		2		
カウンセリング	講義		2		
産業カウンセリング	講義		2		
コーチング論	講義		2		
現代ジャーナリスト論	講義		2		
関連科目	社会の基礎数学	講義		2	
	認知心理学	講義		2	
	生涯心理学	講義		2	
	学習心理学	講義		2	
	女性心理学	講義		2	
	犯罪心理学	講義		2	
	心理学研究法	講義		2	
心理学統計法	講義		2		

	心理学実験実習Ⅰ	実習		2	
	心理学実験実習Ⅱ	実習		2	
	社会調査概論	講義		2	
	社会調査方法論	講義		2	
	社会調査実習Ⅰ	実習		2	
	社会調査実習Ⅱ	実習		2	
	調査・実験データ処理法	講義		2	
	社会科学データ分析	講義		2	
	国際政治論	講義		2	
	地理学概論	講義		2	
	特別講義 A	講義		2	
	特別講義 B	講義		2	
演習科目	演習Ⅰ	演習	2		
	演習Ⅱ A	演習	2		

	演習Ⅱ B	演習	2		
	演習Ⅲ A	演習	2		
	演習Ⅲ B	演習	2		
	演習Ⅳ A	演習	4		
	演習Ⅳ B	演習	4		
外国語科目	英語コミュニケーションⅠ	演習	2		
	英語コミュニケーションⅡA	演習	2		
	英語コミュニケーションⅡB	演習	2		
	中国語コミュニケーションⅠA	演習		2	
	中国語コミュニケーションⅠB	演習		2	
	中国語コミュニケーションⅡA	演習		2	
	中国語コミュニケーションⅡB	演習		2	

別表第6

第16条別表第6 教職課程授業科目及び単位数

全学部共通

授 業 科 目		授業形態	単位数	備 考
教 師 論		講義	2	
教 育 原 理		講義	2	
発 達 ・ 学 習 理 論		講義	2	
教 育 制 度		講義	2	
教 育 課 程 論		講義	2	
教科教育法	国語科教育法	講義	2	
	書道科教育法	講義	2	
	英語科教育法	講義	2	
	美術科教育法	講義	2	
	家庭科教育法	講義	2	
	情報科教育法	講義	2	
	社会科教育法	講義	2	
	社会科・公民科教育法	講義	2	
国語科教育実践研究(1)		講義	2	
国語科教育実践研究(2)		講義	2	
書道科教育実践研究		講義	2	
英語科教育実践研究(1)		講義	2	
英語科教育実践研究(2)		講義	2	
英語科教育実践研究(3)		講義	2	
美術科教育実践研究(1)		講義	2	
美術科教育実践研究(2)		講義	2	
美術科教育実践研究(3)		講義	2	
家庭科教育実践研究(1)		講義	2	

家庭科教育実践研究(2)	講義	2	
家庭科教育実践研究(3)	講義	2	
情報科教育実践研究	講義	2	
社会科教育実践研究(1)	講義	2	
社会科教育実践研究(2)	講義	2	
公民科教育実践研究	講義	2	
道徳教育の研究	講義	2	
教 育 方 法	講義 実技	2	
生 徒 指 導 論	講義	2	
教 育 相 談	講義	2	
教 育 実 習 A	講義 実習	5	
教 育 実 習 B	講義 実習	3	
栄 養 教 育 実 習	講義 実習	2	
教職実践演習(中・高)	演習	2	
教職実践演習(栄養)	演習	2	
教 職 特 別 講 義	講義	2	
介 護 支 援 基 礎 論	講義	2	
介 護 等 体 験	実習	1	
教 職 研 究 a	講義 演習	2	
教 職 研 究 b	講義 演習	2	
教 職 研 究 c	講義 演習	2	
教 職 研 究 d	講義 演習	2	
教 職 研 究 e	講義 演習	2	
児童・生徒栄養教育論(1)	講義	2	
児童・生徒栄養教育論(2)	講義	2	

別表第7

第16条別表第7 図書館司書関係授業科目
全学部共通

必修科目			
授業科目	授業形態	単位	備考
生涯学習論	講義	2	
図書館概論	講義	2	
図書館情報技術論	講義・演習	2	
図書館制度・経営論	講義	2	
図書館サービス概論	講義	2	
情報サービス論	講義	2	
児童図書館サービス論 a	講義・演習	2	
児童図書館サービス論 b	講義・演習	2	
情報サービス演習 a	演習	1	
情報サービス演習 b	演習	1	

図書館情報資源概論 a	講義・演習	2	
図書館情報資源概論 b	講義・演習	2	
情報資源組織法 1 a	講義・演習	1	
情報資源組織法 1 b	講義・演習	1	
情報資源組織法 2 a	講義・演習	1	
情報資源組織法 2 b	講義・演習	1	
選択科目			
図書館基礎特論	講義	2	
図書・図書館史	講義	2	
図書館施設論	講義	2	
図書館総合演習	講義・演習	2	
図書館実習	講義・実習	2	

別表第8

第16条別表第8 学校図書館司書教諭関係授業科目及び単位数
全学部共通

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
学校経営と学校図書館	講義	2	
学校図書館メディアの構成	講義	2	
学習指導と学校図書館	講義	2	
読書と豊かな人間性	講義	2	
情報メディアの活用	講義 演習	2	

別表第9

第16条別表第9 博物館学芸員関係授業科目

全学部共通

必修科目			
授業科目	授業形態	単位	備考
博物館学入門	講義	2	
博物館経営論	講義	2	
博物館資料論	講義	2	
博物館教育論	講義	2	
生涯学習概論	講義	2	
博物館情報・メディア論	講義	2	
博物館展示論	講義	2	
博物館資料保存論	講義	2	
博物館実習1 a	実習	1	
博物館実習1 b	実習	1	
博物館実習2	実習	1	
選択科目			
美術史概論 a	講義	2	
美術史概論 b	講義	2	
工芸史概論 a	講義	2	
工芸史概論 b	講義	2	
文化史概論 a	講義	2	
文化史概論 b	講義	2	
知的財産論	講義	2	
文化経営論	講義	2	
文化財保存学 a	講義	2	
文化財保存学 b	講義	2	

別表第10

第60条別表第10

外国人留学生特設科目

選 択 科 目			
授 業 科 目	授業形態	単位数	備 考
日 本 文 化 事 情 a	講義	2	
日 本 文 化 事 情 b	講義	2	
日 本 語 a	講義	2	
日 本 語 b	講義	2	
日 本 語 c	講義	2	
日 本 語 d	講義	2	

学則の変更の趣旨等を記載した書類

a 学則変更（収容定員変更）の内容

実践女子大学では、平成 25 年 4 月に生活科学部食生活科学科に新たに健康栄養専攻を設置し、栄養士の養成を行うこととする。これに伴い、健康栄養専攻の入学定員 40 名、収容定員 160 名については、文学部国文学科（15 名）、英文学科（15 名）、美学美術史学科（10 名）、生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻（14 名）、食生活科学科食物科学専攻（5 名）、生活環境学科（10 名）、生活文化学科生活文化専攻（10 名）生活文化学科幼児保育専攻（5 名）、人間社会学部人間社会学科（10 名）、現代社会学科（10 名）の編入学定員 104 名、収容定員 208 名を用いることとし、各学部学科の入学定員、編入学定員、収容定員を下記のとおり変更する。

学部	学科・専攻名	現行			変更後		
		入学	編入	収容	入学	編入	収容
文学部	国文学科	110 名	15 名	470 名	110 名	9 名	458 名
	英文学科	110 名	15 名	470 名	110 名	9 名	458 名
	美学美術史学科	90 名	10 名	380 名	90 名	2 名	364 名
生活科学部	食生活科学科管理栄養士専攻	70 名	14 名	308 名	70 名	—	280 名
	食生活科学科食物科学専攻	75 名	5 名	310 名	75 名	—	300 名
	食生活科学科 新専攻				40 名	—	160 名
	生活環境学科	80 名	10 名	340 名	80 名	2 名	324 名
	生活文化学科生活文化専攻	40 名	10 名	180 名	40 名	2 名	164 名
	生活文化学科幼児保育専攻	45 名	5 名	190 名	45 名	—	180 名
人間社会学部	人間社会学科	100 名	10 名	420 名	100 名	—	400 名
	現代社会学科	100 名	10 名	420 名	100 名	—	400 名
		820 名	104 名	3,488 名	860 名	24 名	3,488 名

なお、食生活科学科健康栄養専攻を平成 25 年 4 月に設置するに伴い、大学全体の収容定員が増減しないようにするために、平成 25 年度、平成 26 年度の編入学定員は、次のとおりとする。

文学部

	平成 25 年度	平成 26 年度
国文学科	13 名	13 名
英文学科	13 名	13 名
美学美術史学科	8 名	8 名

生活科学部

学 科	専 攻	平成 25 年度	平成 26 年度
食生活科学科	管理栄養士専攻	2 名	2 名
	食物科学専攻	2 名	2 名
	健康栄養専攻	—	—
生活環境学科		2 名	2 名
生活文化学科	生活文化専攻	2 名	2 名
	幼児保育専攻	2 名	2 名

人間社会学部

	平成 25 年度	平成 26 年度
人間社会学科	10 名	10 名
現代社会学科	10 名	10 名

b 学則変更（収容定員変更）の必要性

実践女子大学生活科学部食生活科学では、管理栄養士専攻及び食物科学専攻を設置し、管理栄養士の養成、社会で必要とされる健康と栄養、食と暮らしのスペシャリストの育成を行ってきた。平成 25 年度より、食生活科学科に新たに栄養に係る職や、給食経営や食育についても学ぶ専攻を設置することとする。

一方、本学編入学定員として 104 名を有しているが、過去 5 年間にわたり定員割れが続いており、その充足率も悪化しており、編入学定員数を確保することは非常に困難となっている。

このような状況の中、食生活科学科に新専攻を置く構想を実現するために、各学部学科にある編入学定員を用いて、大学全体の収容定員が増減しない形とすることとした。

c 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

生活科学部食生活科学科に新たに健康栄養専攻を設けることにより、専攻に必要な教育課程を設けることとする。

新たな教育課程は、栄養士を養成するために必要な科目を必修とするとともに、質の高い栄養士を養成するために、献立の計画立案、調理技術を理解する調理学、食育の方法等を高度に学ぶ食育群、健康やスポーツと栄養に関する運動健康群などを設けている。

また、全学部学科の学生が学ぶ共通教育科目については、平成 26 年度からの文系学部の渋谷移転を見据え、平成 25 年度からの共通教育科目の改変を行っている。栄養士をはじめとして、栄養に係る仕事に就業し社会で活躍するために必要なコミュニケーション力や外国語力等を身につけるとともに、広い教養を学べる内容としている。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学長	ユサ シゲオ 湯浅 茂雄 <平成19年4月>		文学 修士 ※		実践女子短期大学 学長 (平成19年4月) 実践女子大学 文学部教授 (平成10年4月)